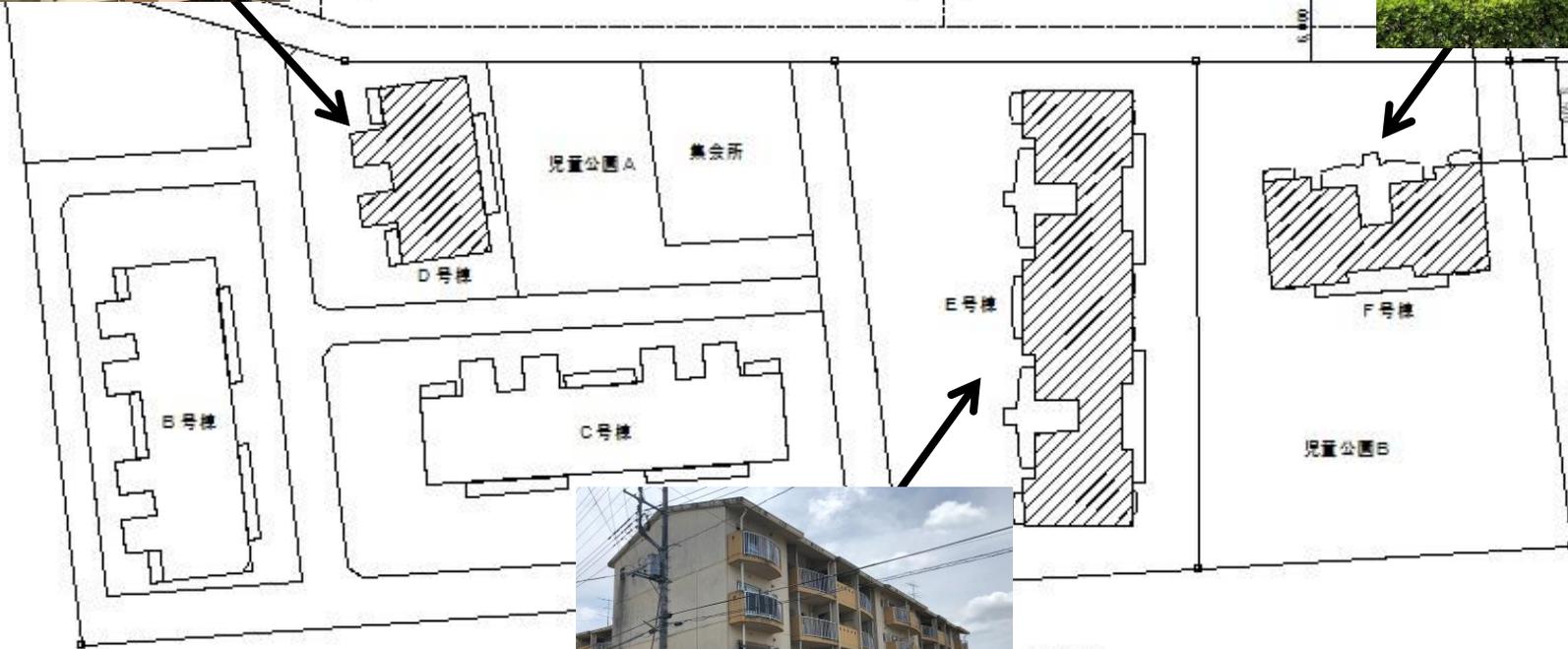
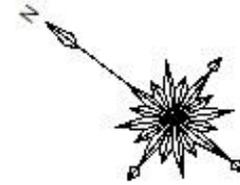
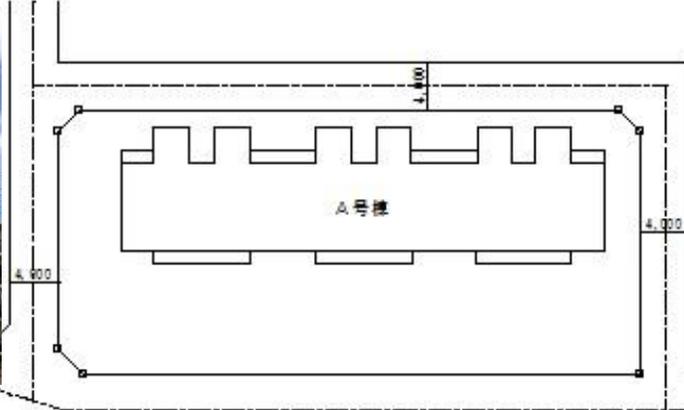


<b>工事費執行(変更)概要書</b>				部長	次長	課長	課長補佐	課員	課員	審査員	設計者
執行年度	工事名	R元 国補 市営正上内台団地(D号, E号, F号棟)長寿命化改修工事									
元 年度	工事場所	石岡市 正上内 12250番27 地内									
設計(変更)概要				施工方法	請 負 ・ <del>委 託</del>						
【建築物概要】				原契約年月日	令和 年 月 日						
建物等名称	構造・階数	延べ面積	備考	工 期	令和 年 月 日から 令和 2年 3月 30日まで 日間						
正上内台団地D号棟	PC造 4階	539.59 m2	8 戸								
正上内台団地E号棟	PC造 4階	1,289.08 m2	16 戸								
正上内台団地F号棟	PC造 4階	645.08 m2	8 戸								
				受注者							
【工事概要】				費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 減 (△)			
工種	規格	数量	単位	起 工 額	円			円			
屋上防水改修工事(D棟)	ウレタン塗膜防水機械的固定工法	172.3	m2	請負に付する額	円			円			
屋上防水改修工事(E・F棟)	ウレタン塗膜防水 密着工法	630.3	m2	工事価格	円			円			
外壁塗装改修工事	防水形複層塗材E	3,440.2	m2	消費税相当額	円			円			
				請負決定額	円			円			
変更理由				変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ (少数第7位切り捨て6位止め)							
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">変更積算工事価格</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 円		×	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">請負比率</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> =		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">変更積算工事価格</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 円		



 : 対象建物

R元 国補 市営正上内台団地(D号, E号, F号棟)長寿命化改修工事  
位置図

## 特記仕様書（改修工事）

### I 工事概要

1. 工事名 R元 国補市営正上内台団地（D号,E号,F号棟）長寿命化改修工事

2. 工事場所 石岡市正上内12250番27号 地内

3. 敷地面積 5641.71 m<sup>2</sup>

4. 工期

工期は令和2年3月30日までとしているが、本契約に係る予算の繰越手続きが認められた場合には、別途協議により工期を変更する予定である。なお、想定している工期は概ね120日間である。

5. 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、等）

(1) 工事範囲 ※図示

(2) 建物概要

（全体）

建物名称	D号棟		E号棟		F号棟	
構造	PC造	一部造	PC造	一部造	PC造	一部造
階数	地上4階	地下階	地上4階	地下階	地上4階	地下階
建築面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	
延べ面積	539.59 m <sup>2</sup>		1289.08 m <sup>2</sup>		654.08 m <sup>2</sup>	

6. 別途工事

- ・
- ・
- ・

## Ⅱ 建築改修工事仕様

### 1. 共通仕様

- (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、を付けたものを適用する。
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
  - 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
  - 建築工事標準詳細図（平成28年版）（以下、「標準詳細図」という。）
- ・ 建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号にのついたものを適用する。
  - 2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。  
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
  - 3) 特記事項に記載の [       ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
  - 4) 特記事項に記載の (       ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 適用区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風圧力 <ul style="list-style-type: none"> <li>風速 (<math>V_0 = 34 \text{ m/s}</math>)</li> <li>地表面粗度区分 ( ・ I ・ II ◎III ・ IV )</li> </ul> </li> <li>・ 積雪荷重 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1455 号における区域 別表 ( )</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	2 環境への配慮	<p style="text-align: right;">[1.4.1]</p> <p>(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <p>①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料</p> <p>②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料</p> <p>④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	3 材料の品質等	<p style="text-align: right;">[1.4.2]</p> <p>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <p>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③安定的な供給が可能であること。</p> <p>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p>

章	項目	特記事項																					
1 一般共通事項	3 材料の品質等	<p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材, 乾式保護材, 既製調合モルタル, 既製調合目地材, 錠前類, クローザ類, 自動扉機構, 自閉式上吊り引戸機構, 防水剤, 現場発泡断熱材, フリーアクセスフロア, 移動間仕切, トイレブース, 煙突用成形ライニング材, 天井点検口, 床点検口, グレーチング, 屋上緑化システム, エポキシ樹脂, ポリマーセメントモルタル, 床型枠用鋼製デッキプレート, 鉄骨柱下無収縮モルタル, ルーフドレン, 吸水調整材, 重量シャッター, 軽量シャッター, オーバーヘッドドア, 可動間仕切, トップライト, 鋳鉄製ふた</p> <p>(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については, 茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく, 「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成30年2月9日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)により, 県が定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。</p> <p>(7) 上記の条件を満たすものが市産品で確保できる場合には, その優先使用に努めるものとする。なお, 市産品とは, 「石岡市内で生産されたもの, 又は加工し製品化されたもの」とする。 ただし, 木材については, 県内の森林から合法的に産出された木材を使用することとし, 「いばらき優良木材証明制度」に基づく証明書など, 県産木材であることが確認できる資料を提出して監督員の承諾を受けることとする。</p>																					
	4 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p style="text-align: right;">[1.6.9]</p> <p>室内空気中のホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン(学校施設については, パラジクロロベンゼンについても対象とする。)の濃度を測定し, 測定結果を監督員に報告すること。</p> <p>採取方法及び測定方法は, 厚生労働省が示した室内空気中化学物質の標準的な方法とし, ホルムアルデヒドの測定方法は, ジニトロフェニルヒドラジン(DNPH)誘導体化固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法により, その他の揮発性有機化合物の測定方法は, 固相吸着/溶媒抽出法とガスクロマトグラフ/質量分析法の組み合わせにより行い, パッシブ型採取機器により行うこと。</p> <p>測定対象室は, 平成15年4月1日通知「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ, 下表の数を標準とする。(指針値は, 付記事項の6を参照)</p> <table border="1" data-bbox="529 1332 1471 1406"> <thead> <tr> <th>室の床面積 A (㎡)</th> <th>A ≤ 50</th> <th>50 &lt; A ≤ 200</th> <th>200 &lt; A ≤ 500</th> <th>500 &lt; A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内空気中の化学物質の濃度測定対象室箇所数表</p> <table border="1" data-bbox="529 1438 1331 1585"> <thead> <tr> <th>室名(測定対象室)</th> <th>床面積</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>着工前の測定 ・ 行う</p>	室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	4	室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数								
室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																			
測定箇所数	1	2	3	4																			
室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数																					

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	5 埋設配管・配線および鉄筋調査	<p>あと施工アンカー工事 8章〈あと施工アンカー〉による</p> <p>コア抜き、はつり工事等 ※既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探査機（電磁誘導法又は電磁波レーダー法）による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲 ※図示</li> <li>・放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督員に提出する。</li> <li>(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業員以外の立入禁止措置を講ずる。</li> <li>(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。</li> <li>(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。</li> <li>(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。</li> </ul> </li> </ul> <p>撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm</p>
	6 リサイクルの優先順位	(1)発生抑制の徹底 (2)再使用の徹底 (3)再資源化の徹底 (4)適正処分の徹底 (再資源化に係る作成書類は、付記事項の5を参照)
	7 発生材の処理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法 ( )</li> <li>・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法 ( )</li> <li>・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品 目 ( )</li> </ul>
	8 下請負人通知書	建設工事請負契約書及び下請負人通知書を、市と請負契約を締結した日から原則として30日以内、その後の下請契約に係るものは、契約締結の日から10日以内に通知するものとする。

章	項目	特記事項		
1 一般共通事項	9 技能士	(1.5.2)		
		工事項目	技能検定職種	技能検定作業
		仮設工事	とび	◎とび作業
		防水改修工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト防水工事作業</li> <li>◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・合成ゴム系シート防水工事作業</li> <li>・塩化ビニル系シート防水工事作業</li> <li>・セメント系防水工事作業</li> <li>◎シーリング防水工事作業</li> <li>・改質アスファルトシート工法防水工事作業</li> <li>・FRP防水工事作業</li> </ul>
		外壁改修工事	左官	・左官作業
			タイル張り	・タイル張り作業
			樹脂接着剤注入施工	◎樹脂接着剤注入工事作業
			塗装	◎築塗装作業
	建具改修工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	
		ガラス施工	・ガラス工事作業	
		自動ドア施工	・自動ドア施工作業	
	塗装改修工事	塗装	◎建築塗装作業	
	コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント 板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業	
ALCパネル施工		・ALCパネル工事作業		
10 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。			
11 既存部分との取合い	工事中に取合部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原型に復する。			
12 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。			
13 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難しい場合は監督員と協議する。			

章	項目	特記事項																			
1 一般共通事項	14 完成図等	(1.7.1~1.7.3) (表1.7.1) ※完成図 ※作成する ・作成しない 提出するもの ・原図 ◎製本 1部 ※CADデータ (JWW形式) サイズ ・A1 ◎A2 ・A3 ※CD-R 完成図 (JWW形式), 完成写真 (JPEG形式) を収録したもの ・維持保全に関する資料 (部数 ※1部)																			
	15 引渡物	※鍵は1カ所につき, 3個を1組とし, プラスティック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は, 1組3個とし, 木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																			
	16 提出書類	※写真 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>内容</th> <th>枚数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>工事写真</td> <td>適宜</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>完成写真 (支払用: 内外観)</td> <td>各2枚以上</td> <td>1</td> <td>A4版</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>完成写真 (・データ共)</td> <td>適宜</td> <td>2</td> <td>カラー印画紙キャビネ判 アルバム綴じ</td> </tr> </tbody> </table> アルバムは黒表紙金文字入りでサイズはH320 X W300程度とする 完成写真 (アルバム) の撮影業者 ※建築完成写真の撮影実績のある者で, 監督員が承諾する撮影業者 ◎規格品証明書 (原品証明書, 同等品試験証明書, 試験成績書等) ・ガス圧接作業員技量資格証明書 (写し) ・ガス圧接試験報告書 ・コンクリート強度試験報告書 ・溶接工技量証明書 (表・裏とも写し) ◎防水保証書 (3-5. 6. 7. 8は10年) ・コンクリート配合計画書 ◎工事实績情報の登録内容確認書の写し ※火災保険等に加入したことを証明できる書類 ◎建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し ※施工体制台帳の写し ※施工体系図の写し ◎産業廃棄物処理関係書類 (産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し, 産業廃棄物 処理委託契約書及び許可書の写し等) ◎産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の写し ◎内装材 (下地を含む) に VOC 材料を使用した場合は, 安全データシート (SDS) 及びホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン, 有機リン系の含有率のデータシート ・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 ※建設副産物実態調査に関する出力調査票 ※その他 監督員が必要と認め, 指示した書類及び部数	適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真 (支払用: 内外観)	各2枚以上	1	A4版	・	完成写真 (・データ共)	適宜	2
適用	内容	枚数	部数	備考																	
※	工事写真	適宜	1	電子納品																	
※	完成写真 (支払用: 内外観)	各2枚以上	1	A4版																	
・	完成写真 (・データ共)	適宜	2	カラー印画紙キャビネ判 アルバム綴じ																	
17 埋蔵文化財	※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内 ・掘削作業に際しては, 工事立会, 試掘確認調査等を要する。施工にあたっては, あらかじめ, 工事日程, 掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上, 監督員, 施設管理担当, 石岡市教育委員会文化振興課担当と協議を行うこと。 ・掘削作業に際しては, 慎重に施工のこと。施工にあたり, 文化財その他の埋蔵物を発見した場合は, 直ちにその状況を監督員に報告すること。																				

章	項目	特記事項																															
2 仮設工事	1 足場	[2. 2. 1] ◎「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ◎内部足場 ◎設置する (※脚立、足場板等 ) ・設置しない ◎外部足場 ◎設置する ・設置しない ◎防護シート ◎設置する ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 [表2. 2. 1] 種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種) C種：利用可能なエレベーター ( ) D種：利用可能な階段 ( )																															
	2 既存部分の養生	[2. 3. 1] 1) 養生の方法等 ◎既存部分 養生の方法 (※ビニルシート、合板等 ) ◎既存家具、既存設備等 養生の方法 (※ビニルシート等 ) ・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (・ビニルシート等 ) 保管場所 (・図示 ) ◎備品、机、ロッカー等の移動 (・図示 ) 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																															
	3 監督員事務所	[2. 4. 1] ※設ける 規模： m <sup>2</sup> 程度 仕上げの程度： 程度 備え付ける備品： ・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台 ・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・寒暖計 ・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・安全帯 ・受託者加入電話の子機 ・暖冷房機 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ・その他 ( ) ・設けない																															
	4 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり (◎利用できる (有償) ※利用できない)																															
	5 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり (・利用できる (有償) ※利用できない)																															
	6 仮設間仕切り	[2. 3. 2] [表2. 3. 1] 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ (厚さ mm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せっこうボード (9.5)</td> <td>・無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・軽量鉄骨</td> <td>・合板 (9.0)</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充填材：グラスウール 32K (厚：50mm 以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し ・片面</td> <td>※有り ・無し</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充填材：グラスウール 32K (厚：50mm 以上)	種別	下地	仕上げ (厚さ mm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せっこうボード (9.5)	・無し	※有り	・B種	・軽量鉄骨	・合板 (9.0)	・片面		※C種	単管	防災シート			材質	仕上げ	塗装	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し	・		
種別	下地	仕上げ (厚さ mm)	塗装	充填材																													
・A種	・木	・せっこうボード (9.5)	・無し	※有り																													
・B種	・軽量鉄骨	・合板 (9.0)	・片面																														
※C種	単管	防災シート																															
材質	仕上げ	塗装	充填材																														
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し																														
・																																	



章	項目	特記事項																									
3 防水改修工事	1 施工数量調査	[1.5.2] [1.5.3] 調査範囲 ・図示の範囲 ・ 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・2部 ・																									
	2 降雨等に対する養生方法（とい共）	[3.1.3] ※改修標準仕様書 3.1.3(e) (1)～(3)による ・																									
	3 既存防水の処理	[3.2.3] [3.2.4] [3.2.6] 既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・） ◎行わない 既存防水層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・） ◎行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装撤去 ・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X） ・行わない																									
	4 既存防水層の下地補修	[3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・ POS 工法及び POSI 工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び措置 ※改修標準仕様書 3.2.6(d) (3) (vii)①～③による ・																									
	5 アスファルト防水	[3.3.2～3.3.5] 屋根保護防水 防水層の種別																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="2">※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 以上 ・</td> <td rowspan="6">・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・AI-1 ※AI-2 ・AI-3</td> <td></td> <td>(材質) ※JIS A 9521 による押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 bA(スキ層付)又は JIS A 9511 による A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 3種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・25mm ・</td> <td>※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・</td> </tr> <tr> <td>・P1BI ・T1BI</td> <td>・BI-1 ※BI-2 ・BI-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3		/	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え	・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3		・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		(材質) ※JIS A 9521 による押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 bA(スキ層付)又は JIS A 9511 による A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 3種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・25mm ・	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・	・P1BI ・T1BI	・BI-1 ※BI-2 ・BI-3			
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																						
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3		/	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え																						
・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3																										
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		(材質) ※JIS A 9521 による押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 bA(スキ層付)又は JIS A 9511 による A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 3種 b(スキあり) ・ (厚さ) ・25mm ・	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・																							
・P1BI ・T1BI	・BI-1 ※BI-2 ・BI-3																										
		<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表 3.3.3 から表 3.3.9 による ・</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表 3.3.3 から表 3.3.9 による ・</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 ・ 床タイル貼り ※水下 60mm 以上 ・</p> <p>・乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成型しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p>																									

章	項目	特記事項							
3 防水改修工事	5 アスファルト防水	屋根露出防水 防水層の種類別							
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量		高日射 反射率 防水の 適用	備考
		・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4		/	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	※適用 する ・適用 しない	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		/	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1 ※DI-2		(材質) ※JIS A 9521 による 硬質ウレタンフォーム断熱 材 2 種 1 号若しくは 2 号で透湿係数 を除く規格に適合 するもの又は JIS A 9511 による A 種 硬質ウレタンフォーム保温 材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿 係数を除く規格に 適合するもの ・ (厚さ)・25mm	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による ・脱気装置の種類 , 設置数量 個/m <sup>2</sup> 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示							
		屋内防水							
		工法	種別	施工箇所	備考				
		・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		保護層	・設ける ・設けない			
		押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度							
		屋根排水溝 ※図示							

章	項目	特記事項								
3 防水改修工事	6 改質アスファルトシート防水	[3.4.2] [3.4.3]								
		防水層の種類別								
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	
						種類	使用量			
		・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・製造所の指定による	・製造所の指定による	※適用する		
		・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない	
		・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない	
		・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1  ・ASI-J1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号若しくは 2 号で透湿係数を除く規格に適合するもの 又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号若しくは 2 号で透湿係数を除く規格に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	
		改質アスファルトシートの種類及び厚さ								
		※改修標準仕様書 表 3.4.1 から表 3.4.3 による								
		粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ								
		※改修標準仕様書 表 3.4.1 から表 3.4.3 による								
		部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ								
		※改修標準仕様書 表 3.4.1 から表 3.4.3 による								
		脱気装置の種類及び設置数量								
		※改質アスファルトシート製造所の指定による								
		・脱気装置の種類 , 設置数量 個/m <sup>2</sup>								
		押え金物								
		※改質アスファルト製造所の仕様による								

章	項目	特記事項							
3 防水改修工事	7 合成分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2~3.5.4] [表 3.5.1~3.5.3]							
		防水層の種類別							
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考
						種類	使用量		
		・POS ・S4S	・S-F1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	※適用 する  ・適用 しない	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
			・S-F2						
			・S-M1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による		
			・S-M2						
			・S-M3						
		・S3S	・S-F1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による		
			・S-F2						
		・M4S	・S-M1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による		
			・S-M2						
			・S-M3						
		・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1		(材質) ※改修標準仕様書 3.5.2(c)(3)(ii) による	・製造所の 指定による	・製造所の 指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
・SIF2			(厚さ)・25mm						
・SI-M1			(材質) ※改修標準仕様書 3.5.2(c)(3)(i) による	・製造所の 指定による	・製造所の 指定による				
・SI-M2			(厚さ)・25mm						
屋内防水									
防水層の種類別									
種別	施工 箇所	保護層				立上り部の 保護モルタル 塗り厚さ			
		平場のモルタル塗り			下地モルタル塗り				
		塗り 厚さ	床塗り工法						
・S-C1	・	・	※標準仕様書 15.2.5(b)(2)及 び(3)に準ずる	※標準仕様書 15.2.5(c)(1)に 準ずる	※7mm以下 ・				
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ									
ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書 表 3.5.1 から表 3.5.3 による									
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート									
固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板, ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に 樹脂を積層加工した鋼板									
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ・脱気装置の種類, 設置数量 個/m <sup>2</sup>									

章	項目	特記事項																																											
3 防水改修工事	7 合成分子系ルーフィングシート防水	<p>既存防水下地がPC コンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別 S-C1 の場合の目地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う（・図示） ・行わない</li> </ul> <p>PC コンクリート部材の入隅部の増張り（種別 S-F1, SI-F1, S-C1 の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う（・図示） ・行わない</li> </ul> <p>ALC パネル下地の入隅部の増張り（種別 S-C1 の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う（・図示） ・行わない</li> </ul> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法</p>																																											
	8 塗膜防水	<p style="text-align: right;">[3.6.2] [3.6.3]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射放射率防水の適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2 ・</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>※適用する</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ※X-2 ・</td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・適用しない</td> <td>脱気装置 ・設け ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・脱気装置の種類      ,      設置数量      個/m<sup>2</sup></p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射放射率防水の適用	備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2 ・		・製造所の指定による	・製造所の指定による	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・製造所の指定による	・製造所の指定による	・適用しない	脱気装置 ・設け ・設けない	・P1Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない				/	/	/
工法	種別	施工箇所				仕上塗料				高日射放射率防水の適用	備考																																		
			種類	使用量																																									
・POX	※X-1 ・X-2 ・		・製造所の指定による	・製造所の指定による	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない																																							
・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・製造所の指定による	・製造所の指定による	・適用しない	脱気装置 ・設け ・設けない																																							
・P1Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない																																							
・P2Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない																																							
			/	/	/																																								
9 シーリング		<p style="text-align: right;">[3.7.2] [3.7.3] [3.7.7] [3.7.8]</p> <p>シーリング改修工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング充填工法</li> <li>・シーリング再充填工法</li> <li>・拡幅シーリング再充填工法</li> <li>・ブリッジ工法</li> </ul> <p>ボンドブレード張り      ・適用する      ・適用しない エッジング材張り      ・適用する      ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下記以外は、改修標準仕様書 表 3.7.1 による。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施工箇所</th> <th style="width: 50%;">シーリング材の種類（記号）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書 3.7.3(a) (1)～(3)による      ・</p>	施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																									
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																												

章	項 目	特 記 事 項								
3 防水改修工事	10 とい	<p style="text-align: right;">[3.8.2] [3.8.3]</p> <p>といの材種 ※配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフトレン</p> <table border="1" data-bbox="518 280 1473 425"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ろく屋根用 (◎縦型 ・ 横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 既製のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表 3.8.5 による ・ たてどい受金物の取付け ※図示 ・ ルーフトレンの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p>	種別	施工箇所	◎ろく屋根用 (◎縦型 ・ 横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用	
	種別	施工箇所								
◎ろく屋根用 (◎縦型 ・ 横型)										
・バルコニー用										
・バルコニー中継用										
11 アルミニウム製笠木	<p style="text-align: right;">[3.9.2] [3.9.3]</p> <p>種類 ・ オープン形式 ( ・ 押出 250 形 ・ 押出 300 形 ・ 押出 350 形 ) ・ 板材折曲げ形 ( ・ オープン形式 ・ シール形式 ) 本体幅 : ( ) mm 板厚 ( ※ 2.0mm ・ mm )</p> <p>表面処理 種別 ( ) 種 皮膜等の種類 ( ※ 標準仕様書 表 14.2.1 による ・ ) 着色 ( ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー )</p> <p>既存笠木等の撤去 ・ 行う ( 範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法</p>									

章	項目	特記事項						
4 外壁改修工事	1 施工数量調査	[1.5.2] [1.5.3] 調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 調査時期 ・ 外壁仕上げ等除去前 ・ 外壁仕上げ等除去後 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。  既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書の部数 ・ 2部 ・						
	2 可とう性エポキシ樹脂	[4.2.2] (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による						
	3 パテ状エポキシ樹脂	[4.2.2] (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による						
	4 エポキシ樹脂モルタル	[4.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>接着強さ</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.0N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>20.0N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>10.0N/mm<sup>2</sup>以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入が無いこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温常湿（温度 20±15℃、湿度 65±20%）において製造後6ヶ月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p>	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	20.0N/mm <sup>2</sup> 以上	10.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ					
	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	20.0N/mm <sup>2</sup> 以上	10.0N/mm <sup>2</sup> 以上					
	5 ポリマーセメントモルタル	[4.2.2] (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による						
6 ポリマーセメントスラリー	[4.2.2] (品質・性能) 建築材料等品質性能表による							
7 既製調合モルタル	[4.2.2] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による							



章	項目	特記事項																										
4 の 2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う (※全面 ・ 図示の範囲)																										
	2 ひび割れ部改修工法	[4. 1. 4] [4. 4. 2] [4. 4. 5~4. 4. 7] ・ 樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.5 未満 低</td> <td>※200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>0.5 以上~1.0 以下 中</td> <td>※200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満 低</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>0.3 以上~0.5 未満 低</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下 中</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形  コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない 抜き取り個数 ※長さ 500mごと及びその端数につき 1 個 抜き取り部の補修方法 ※図示  ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない  ・ 可とう性エポキシ樹脂  ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.5 未満 低	※200~300	・ 130	0.5 以上~1.0 以下 中	※200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満 低	・ 50~100	・ 40	0.3 以上~0.5 未満 低	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下 中	・ 150~250	・ 130				・
	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.5 未満 低	※200~300	・ 130																									
	0.5 以上~1.0 以下 中	※200~300	・ 130																									
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満 低	・ 50~100	・ 40																									
	0.3 以上~0.5 未満 低	・ 100~200	・ 70																									
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下 中	・ 150~250	・ 130																									
			・																									
3 欠損部改修工法	[4. 1. 4] [4. 4. 2] [4. 4. 8] [4. 4. 9] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル  ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状 ) 仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の措置 ※図示																											



章	項目	特記事項																									
4 の 3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁タイル張り全面</li> <li>・図示の範囲</li> <li>撤去範囲 ※下地モルタルまで</li> <li>・張付けモルタルまで</li> <li>・タイルのみ</li> </ul>																									
	2 ひび割れ部改修工法	<p style="text-align: right;">[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 5] [4. 5. 6]</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存タイル撤去面（・コンクリート面</li> <li>・モルタル面）</li> </ul> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上～0.5 未満 低</td> <td>※200～300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>0.5 以上～1.0 以下 中</td> <td>※200～300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上～0.3 未満 低</td> <td>・ 50～100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>0.3 以上～0.5 未満 低</td> <td>・ 100～200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上～1.0 以下 中</td> <td>・ 150～250</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形</p> <p>コア抜き検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>抜き取り個数 ※長さ 500mごと及びその端数につき 1 個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Uカットシーリング材充填工法（既存タイル張り撤去面）</li> <li>・シーリング材</li> <li>充填材料 ※1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系</li> <li>ポリマーセメントモルタルの充填</li> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> <li>・可とう性エポキシ樹脂</li> </ul>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.5 未満 低	※200～300	・ 130	0.5 以上～1.0 以下 中	※200～300	・ 130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満 低	・ 50～100	・ 40	0.3 以上～0.5 未満 低	・ 100～200	・ 70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上～1.0 以下 中	・ 150～250	・ 130			・
	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.5 未満 低	※200～300	・ 130																								
	0.5 以上～1.0 以下 中	※200～300	・ 130																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～0.3 未満 低	・ 50～100	・ 40																								
	0.3 以上～0.5 未満 低	・ 100～200	・ 70																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上～1.0 以下 中	・ 150～250	・ 130																								
			・																								
3 欠損部改修工法	<p style="text-align: right;">[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7] [4. 5. 8]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイル部分張替え工法</li> <li>接着剤の種類</li> <li>・ポリマーセメントモルタル</li> <li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系</li> <li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</li> <li>・タイル張替え工法</li> <li>接着剤の種類</li> <li>・ポリマーセメントモルタル</li> <li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系</li> <li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</li> </ul> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>位置 ※改修標準仕様書 表 4. 5. 1 による</p> <p>タイル張り下地等の下地モルタルの接着剤試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セメントモルタルによる陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り</li> <li>タイル張りの工法</li> <li>外装タイル</li> <li>・密着張り</li> <li>・改良圧着張り</li> <li>・改良積上げ張り</li> <li>外装ユニットタイル</li> <li>・マスク張り</li> <li>・モザイクタイル張り</li> <li>・有機系接着剤による陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り</li> <li>シーリング材の種類</li> <li>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系</li> <li>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系</li> </ul>																										

章	項目	特記事項						
		[4.1.4] [4.2.2] [4.5.9~4.5.15]						
4 の 3	4 浮き部改修工法	工法の種類	アンカーの本数 (本/m)		注入口の個所数 (個所/m <sup>2</sup> )		充填量 (ml/箇所)	注入量 (ml/箇所)
			一般部	指定部	一般部	指定部		
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁		・アンカーニング部分 珪矽樹脂注入工法	※16 .	※25 .	—	—	※25 .	—
		・アンカーニング全面 珪矽樹脂注入工法	※13 .	※20 .	※12 .	※20 .	—	※25 .
		・アンカーニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 .	※20 .	※12 .	※20 .	—	※50 .
		・注入口付アンカーニング部分 珪矽樹脂注入工法	※9 .	※16 .	—	—	※25 .	—
		・注入口付アンカーニング全面 珪矽樹脂注入工法	※9 .	※16 .	※9 .	※16 .	—	※25 .
		・注入口付アンカーニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 .	※16 .	※9 .	※16 .	—	※50 .
		・注入口付アンカーニング 珪矽樹脂注入タイル固定工法	.	.	—	—	※25 .	—
		・タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—	—
		・タイル張り替え工法	—	—	—	—	—	—
		<p>アンカーピン            ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの            .</p> <p>注入口付アンカーピン            ※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径 6mm            .</p> <p>・タイル部分張替え工法            接着剤の種類            ・ポリマーセメントモルタル            ・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系            ・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法            接着剤の種類            ・ポリマーセメントモルタル            ・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系            ・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地            位置 ※改修標準仕様書 表 4.5.1 による .</p> <p>タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 . 行う            . 行わない</p> <p>・セメントモルタルによる陶磁器質タイル (セラミックタイル) 張り            タイル張りの工法            外装タイル . 密着張り . 改良圧着張り . 改良積上げ張り            外装ユニットタイル . マスク張り . モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤による陶磁器質タイル (セラミックタイル) 張り            シーリング材の種類            打継ぎ目地, ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 .            伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 .</p>						

章	項 目	特 記 事 項																																																																																										
4 の 3 外 壁 改 修 工 事 タ イ ル 張 り 仕 上 げ 外 壁	5 目地改修工法	<p style="text-align: right;">[4.1.4] [4.5.16]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目地ひび割れ部改修工法</li> <li>・ 伸縮調整目地改修工法</li> </ul> <p style="text-align: center;">伸縮調整目地の位置及び寸法    ・ 図示    ・</p>																																																																																										
	6 タイルの形状, 寸法等	<p style="text-align: right;">[4.2.2]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施 ゆう</th> <th>無 ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">標準的な曲がりの役物は一体成形とする  試験張り    ・ 行う    ・ 行わない  見本焼き    ・ 行う    ・ 行わない</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材料の適用	耐凍害性		耐滑り性	備考	I類	II類	III類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材料の適用	耐凍害性			耐滑り性	備考																																																																												
		I類	II類	III類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注		有	無																																																																															
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																														

章	項目	特記事項																																																					
4 4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1 所要量の確認	[4. 6. 2] [表 4. 6. 1] 工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書 表 4. 6. 1による																																																					
	2 既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地調整	[4. 6. 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)</td> <td>・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上 ・</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td> <td>・欠損部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎水洗い工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法	・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・欠損部 改修工法	・塗膜はく離剤工法	※図示 ・		◎水洗い工法	※図示 ・																																							
	工法	処理範囲	下地面の補修																																																				
	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法																																																				
	・高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・欠損部 改修工法																																																				
・塗膜はく離剤工法	※図示 ・																																																						
◎水洗い工法	※図示 ・																																																						
3 下地調整塗材	[4. 6. 3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル																																																						
4 仕上げ塗材仕上げ	[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 6. 5] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">・薄付け 仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> <td rowspan="6">・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け 仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">・複層 仕上塗材</td> <td>・複層塗材 CE</td> <td>・</td> <td rowspan="8">・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形 改修用 仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・可とう形外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・可とう形外装薄塗材 E	・	・防水形外装薄塗材 E	・	・外装薄塗材 S	・	・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない	・外装厚塗材 Si	・	・外装厚塗材 E	・	・複層 仕上塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない	・可とう形複層塗材 CE	・	・複層塗材 Si	・	・複層塗材 E	・	・複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 CE	・	・防水形複層塗材 E	・	・防水形複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 RS	・	・可とう形 改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・可とう形改修塗材 RE	・	・可とう形改修塗材 CE	・
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																				
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																				
	・可とう形外装薄塗材 Si	・																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																					
	・可とう形外装薄塗材 E	・																																																					
	・防水形外装薄塗材 E	・																																																					
	・外装薄塗材 S	・																																																					
・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・外装厚塗材 Si	・																																																					
	・外装厚塗材 E	・																																																					
・複層 仕上塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・可とう形複層塗材 CE	・																																																					
	・複層塗材 Si	・																																																					
	・複層塗材 E	・																																																					
	・複層塗材 RE	・																																																					
	・防水形複層塗材 CE	・																																																					
	・防水形複層塗材 E	・																																																					
	・防水形複層塗材 RE	・																																																					
・防水形複層塗材 RS	・																																																						
・可とう形 改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																				
	・可とう形改修塗材 RE	・																																																					
	・可とう形改修塗材 CE	・																																																					
5 マスチック塗材塗り	[4. 1. 5] [4. 7. 2] [表 4. 7. 1] 種別 ・A種 ・B種																																																						

章	項目	特記事項																																										
7 塗装改修工事	1 材料	[7.1.3] 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所： )																																										
	2 下地調整	[7.2.1~7.2.7] 塗替え RB 種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の 30% 図示  下地調整 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面 (鋼製建具)</td> <td>※RB 種</td> <td>RC 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外), ALCパネル面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種 ・ RC 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RB 種 ・ RC 種</td> <td>RA 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・	鉄鋼面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面 (鋼製建具)	※RB 種	RC 種		モルタル、プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面	・ RA 種 ・ RB 種 ・ RC 種	・ RA 種 ・ RB 種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP)	・ RB 種 ・ RC 種	RA 種	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—
	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																								
塗替え		新規																																										
木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・																																									
鉄鋼面	※RB 種	RA 種																																										
亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種																																										
亜鉛めっき面 (鋼製建具)	※RB 種	RC 種																																										
モルタル、プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・ 行う ・ 行わない																																									
コンクリート面 (DP以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・ 行う ・ 行わない																																									
押出成形セメント板面	・ RA 種 ・ RB 種 ・ RC 種	・ RA 種 ・ RB 種	・ 行う ・ 行わない																																									
コンクリート面 (DP)	・ RB 種 ・ RC 種	RA 種	・ 行う ・ 行わない																																									
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—																																									
3 錆止め塗料塗り	[7.3.2] [7.3.3] 錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td rowspan="3">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>A 種 ※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A 種 ※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A 種 ※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>B 種 ※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B 種 ※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>B 種 ※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき面</td> <td rowspan="2">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>※A 種 ・ ※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A 種 ・ ※A 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C 種 ※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C 種 ※A 種</td> </tr> </tbody> </table>	塗装面		塗料	工程	鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種 ※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	A 種 ※A 種	新規見え隠れ	A 種 ※B 種	EP-G	塗替え	B 種 ※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	B 種 ※A 種	新規見え隠れ	B 種 ※B 種	亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種 ・ ※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	※A 種 ・ ※A 種	EP-G	塗替え	C 種 ※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	C 種 ※A 種													
塗装面		塗料	工程																																									
鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種 ※C 種																																									
		新規鉄鋼面見え掛り	A 種 ※A 種																																									
		新規見え隠れ	A 種 ※B 種																																									
	EP-G	塗替え	B 種 ※C 種																																									
		新規鉄鋼面見え掛り	B 種 ※A 種																																									
		新規見え隠れ	B 種 ※B 種																																									
亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種 ・ ※C 種																																									
		新規鉄鋼面見え掛り	※A 種 ・ ※A 種																																									
	EP-G	塗替え	C 種 ※C 種																																									
		新規鉄鋼面見え掛り	C 種 ※A 種																																									

章	項目	特記事項			
7	4 塗装	[7.4.2~7.15.2]			
		塗装の種類	塗装面	工程	
				塗替え	新規
	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類別 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・	
		木部屋内	※B種 ・	※B種 ・	
	・クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	
		亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・	
		亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・	
	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—	
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
	◎耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級(3)級	・	A種	
		亜鉛めっき鋼面 上塗り等級( )級	・	A種	
		コンクリート面及び押し出成形モルタル板面	・	・	
	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・	※B種 ・A種	
		屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・	
		屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	
		屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	
	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	※B種 ・	
	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・	※B種 ・A種	
	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
	・ラッカーエナメル塗り (LE)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
	・オイルステイン塗り (OS)		—		
	・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	
	<p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面, モルタル面, プラスター面, せっこうボード面, その他ボード面) の塗替えの場合のしみ止め  ※改修標準仕様書 表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする  ・</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め  ※改修標準仕様書 表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする  ・</p> <p>・高日射反射率塗料塗り  下地調整 (改修標準仕様書 表 7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種</p>				
	工程	塗料その他			塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )
		規格番号	規格名称	種類	等級
	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級
					塗料製造所の仕様による

















番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
B	防水改修工事						
	(D号棟 屋上防水工事)						
	<撤去工事>	既存タールウレタン塗膜防水材					
	ドレン上皿撤去		9.0	ヶ所			
	<下地処理工事>						
	屋上・1階玄関庇 全面 高压洗浄		194.5	m <sup>2</sup>			
	屋上平場 不陸整正		51.7	m <sup>2</sup>			
	ドレン廻りハツリ	補修共	9.0	ヶ所			
	改修ドレン新設	キャップ・ストレーナー共	9.0	ヶ所			
	金属部取り合いシール処理		1.0	式			
	<防水工事>						
	屋上平場 ウレタン塗膜防水材 機械的工法	VS-R 無機質調仕上	172.3	m <sup>2</sup>			
	屋上入隅 新規通気緩衝シート端部平板押え金物設置	アルミ製 W=30mm	68.1	m			
	屋上立上り 防水層品質管理ウレタン塗膜防水材密着工法	VS-HGL 無機質調仕上	10.1	m <sup>2</sup>			
	新規脱気筒設置	ステンレス	2.0	ヶ所			
	1階玄関庇 平場 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	ZSX-2 t=3mm	8.1	m <sup>2</sup>			
	1階玄関庇 立上り 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	ZSX-2 t=2mm	4.0	m <sup>2</sup>			
	(D号棟・シーリング工事)						
	シーリング打替	PU-2 20*10	246.9	m			
	シーリング打替	PU-2 15*10	270.8	m			

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	シーリング打替	PU-2 10*10	205.7	m			
	(D号棟・床・外壁・天井補修)						
	床 爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 130*60 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 400*100 t40	3.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 1200*100 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 1300*100 t40	2.0	ヶ所			
	天井 爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 100*100 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 100*150 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 600*300 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 1200*300 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 1800*500 t40	1.0	ヶ所			
	階段内壁 爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 100*100 t40	1.0	ヶ所			
	外壁 爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 100*100 t40	1.0	ヶ所			
	爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 1200*100 t40	1.0	ヶ所			
	欠損部補修	ポリマーセメントモルタル 100*100 t40	4.0	ヶ所			
	欠損部補修	ポリマーセメントモルタル 960*110 t41	3.0	ヶ所			
	欠損部補修	ポリマーセメントモルタル 950*120 t40	1.0	ヶ所			
	欠損部補修	ポリマーセメントモルタル 950*160 t40	1.0	ヶ所			
	欠損部補修	ポリマーセメントモルタル 1000*400 t40	1.0	ヶ所			
	バルコニー一部補修	ポリマーセメントモルタル 1150*170 t40	4.0	ヶ所			



番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
C	塗装工事						
	高压洗浄		809.7	m <sup>2</sup>			
	下地調整		797.8	m <sup>2</sup>			
	防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗	797.8	m <sup>2</sup>			
	バルコニーパネル ウレタン樹脂塗装	2回塗、下地処理共	97.4	m <sup>2</sup>			
	階段手摺 DP塗替	手摺34Φ壁付 角鋼13*13 下地処理、錆止め共	134.5	m			
	棟番号 DP塗替	下地処理、錆止め共	2.0	ヶ所			
	豎樋 DP塗替	75Φ 支持金物共 下地処理	105.5	m			
	玄関出入口 DP塗替	スチール製片開戸(両面) 下地処理、錆止め共、枠共	70.5	m <sup>2</sup>			
	階段室 DP塗替	PS開口戸(片面), 床下改め口 下地処理、錆止め共、枠共	54.5	m <sup>2</sup>			
	1階 点検口	改め口 下地処理、錆止め共、枠共	0.3	m <sup>2</sup>			
	最上階タラップ DP塗替		1.0	ヶ所			
	バルコニー隔て板(両面) ウレタン樹脂塗装	2回塗、下地処理共	12.2	m <sup>2</sup>			
	バルコニー隔て板(両面) ステッカー貼		8.0	枚			
	設備引込盤BOX DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	2.0	m <sup>2</sup>			
	設備引込盤配管 DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	9.8	m			
	小 計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
D	解体・撤去工事						
	外壁 PC版取合シーリング撤去	PU-2 20*10	246.9	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	PU-2 15*10	270.8	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	PU-2 10*10	205.7	m			
	発生材処分費	集積・運搬共(産廃処理)	1.0	式			
	避難ハッチ交換工事	既存撤去含む					
	改修用避難ハッチ	RPC-Ⅲ-107 ステンレス製ケースW700*L700 スチール梯子7段階高 H2600	6.0	ヶ所			
	消防手続き		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	マンホール蓋撤去新設	SUS丸型屋根マンホール 外径746Φ 既存撤去含む	1.0	枚			
	スクラップ費	マンホール蓋 1枚 19.6kg	0.0196	t			
	小計						





番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
B	防水改修工事						
	(E号棟・屋上防水工事)						
	<撤去工事>	既存:アスファルトシングル、ウレタン塗膜防水材					
	ドレン上皿撤去		14.0	ヶ所			
	<下地処理工事>						
	全面清掃	高圧洗浄	452.5	m <sup>2</sup>			
	アスファルトシングル脆弱部・不具合部処理	反り上がり タッカー止め等	168.0	m <sup>2</sup>			
	平場 下地調整 ピンホール予防		420.2	m <sup>2</sup>			
	外周部取り合い部シーリング処理		74.8	m			
	ドレン廻り ハツリ	補修共	14.0	ヶ所			
	改修ドレン新設	キャップ・ストレーナー共	14.0	ヶ所			
	<防水工事>						
	平場・立上り 圧縮空気混入低比重(0.5) 超速硬貨ウレタン塗膜防水 密着工法		420.2	m <sup>2</sup>			
	ハッチ廻り 平場 1階玄関庇 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	ZSX-2 t=3mm	25.9	m <sup>2</sup>			
	ハッチ廻り 立ち上り 1階玄関庇 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	ZSX-2 t=2mm	6.4	m <sup>2</sup>			
	(E号棟・シーリング工事)						
	シーリング打替	PU-2 20*10	1,255.1	m			
	シーリング打替	PU-2 15*10	752.9	m			
	シーリング打替	PU-2 10*10	664.3	m			
	小計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
C	塗装工事						
	高压洗浄		1,909.6	m <sup>2</sup>			
	下地調整		1,619.7	m <sup>2</sup>			
	防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗	1,619.7	m <sup>2</sup>			
	バルコニー入口 DP塗替	枠34Φ 下地処理、錆止め共	58.2	m			
	バルコニー入口 縦格子 DP塗替	角鋼13*13 下地処理、錆止め共	96.3	m			
	バルコニー入口 横格子 DP塗替	角鋼9*9 下地処理、錆止め共	1.6	m			
	階段手摺(2ヶ所) DP塗替	手摺34Φ壁付 角鋼13*13 下地処理、錆止め共	269.0	m			
	棟番号 DP塗替	下地処理、錆止め共	2.0	ヶ所			
	縦樋 DP塗替	75Φ 支持金物共 下地処理	240.3	m			
	階段室 DP塗替	PS開閉戸 下地処理、錆止め共、枠共	92.0	m <sup>2</sup>			
	バルコニー隔て板(両面) ウレタン樹脂塗装	2回塗、下地処理共	21.2	m <sup>2</sup>			
	バルコニー隔て板(両面) ステッカー貼		16.0	枚			
	エアコンスリーブ フタ交換	Φ75 樹脂製	2.0	ヶ所			
	設備引込盤BOX DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	1.7	m <sup>2</sup>			
	設備引込盤配管 DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	10.2	m			
	小 計						







番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
B	防水改修工事						
	(F号棟 屋上防水工事)						
	<撤去工事>	既存:アスファルトシングル、ウレタン塗膜防水材					
	ドレン上皿撤去		8.0	ヶ所			
	<下地処理工事>						
	全面清掃	高圧洗浄	228.9	m <sup>2</sup>			
	アスファルトシングル脆弱部・不具合部処理	反り上がり タッカー止め等	84.0	m <sup>2</sup>			
	平場 下地調整 ピンホール予防		210.1	m <sup>2</sup>			
	外周部取り合い部シーリング処理		79.3	m			
	ドレン廻り ハツリ	補修共	8.0	ヶ所			
	改修ドレン新設	キャップ・ストレーナー共	8.0	ヶ所			
	<防水工事>						
	平場・立上り 圧縮空気混入低比重(0.5) 超速硬貨ウレタン塗膜防水 密着工法		210.1	m <sup>2</sup>			
	ハッチ廻り 平場 1階玄関庇	ZSX-2 t=3mm 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	13.8	m <sup>2</sup>			
	ハッチ廻り 立ち上り 1階玄関庇	ZSX-2 t=2mm 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材	5.0	m <sup>2</sup>			
	(F号棟・シーリング工事)						
	シーリング打替	PU-2 20*10	665.3	m			
	シーリング打替	PU-2 15*10	442.7	m			
	シーリング打替	PU-2 10*10	362.8	m			
	小計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
C	塗装工事						
	高压洗浄		1,194.9	m <sup>2</sup>			
	下地調整		1,022.7	m <sup>2</sup>			
	防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗	1,022.7	m <sup>2</sup>			
	バルコニー入口 DP塗替	枠34Φ 下地処理、錆止め共	29.1	m			
	バルコニー入口 縦格子 DP塗替	角鋼13*13 下地処理、錆止め共	48.2	m			
	バルコニー入口 横格子 DP塗替	角鋼9*9 下地処理、錆止め共	0.8	m			
	階段手摺(1ヶ所) DP塗替	手摺34Φ壁付 角鋼13*13 下地処理、錆止め共	134.5	m			
	棟番号 DP塗替	下地処理、錆止め共	2.0	ヶ所			
	縦樋 DP塗替	75Φ 支持金物共 下地処理	131.2	m			
	階段室 DP塗替	PS開閉戸 下地処理、錆止め共、枠共	46.0	m <sup>2</sup>			
	バルコニー隔て板(両面) ウレタン樹脂塗装	2回塗、下地処理共	10.6	m <sup>2</sup>			
	バルコニー隔て板(両面) ステッカー貼		8.0	枚			
	設備引込盤BOX DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	1.4	m <sup>2</sup>			
	設備引込盤配管 DP塗替	下地処理、錆止め共(2ヶ所)	8.2	m			
	小 計						

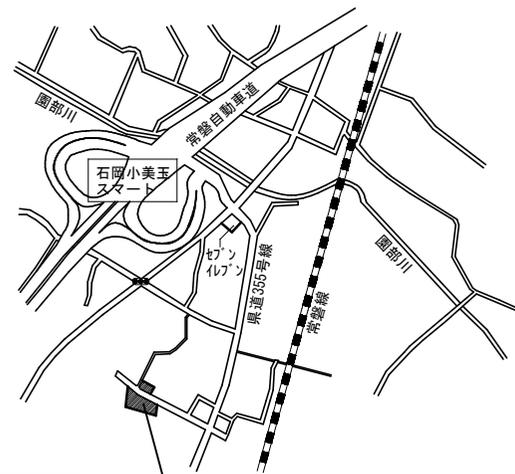


R元 国補市営正上内台団地（D号, E号, F号棟）

長寿命化改修工事

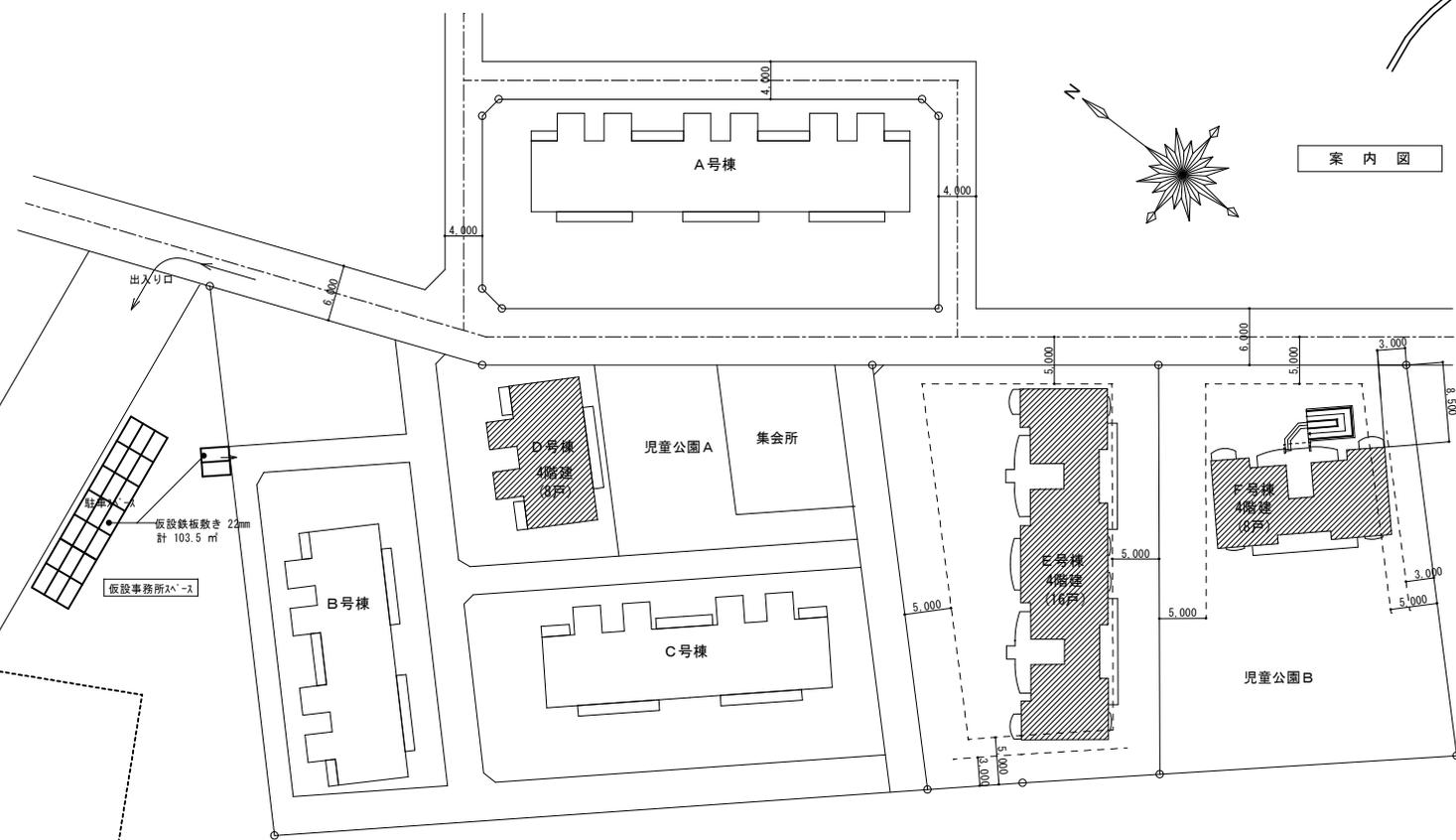
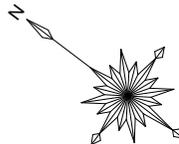
 株式会社 藤岡設計

令和 元年 9月25日



案内図

工事場所：石岡市正上内12250番27地内



■ : 対象建物

配置図 S=1:400



**榎藤岡設計**  
 大匠登録第185945号  
 茨城県石岡市正上内12番1号

知事登録第 A 3453号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認	設計	担当

縮尺 S=1:400  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 配置図・案内図 (D号、E号、F号棟) 共通

改修部分 仕上表

屋根	D号棟	既存	PC板金ゴテの上タールウレタン防水	階段室（壁、天井、段裏）	既存	PC版下地アクリル系リシン吹付
		改修	高圧洗浄、下地調整の上ウレタン防水 機械的固定工法（V S-R）		改修	高圧洗浄、下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
	E・F号棟	既存	アスファルトシングル葺	階段室（ササラ手摺面）	既存	PC版素地
		改修	アスファルトシングル屋根防水改修仕様 ウレタン塗膜防水、高反射トップコート仕上		改修	高圧洗浄、下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
屋根（玄関庇）	既存	PC板金ゴテの上タールウレタン防水	階段手摺	既存	スチール製 OP塗（手摺：φ42.7、手摺子：φ16）	
	改修	高圧洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水密着工法		改修	下地調整（RB種）、錆止め塗装の上DP塗	
既存ドレイン清掃	既存	鑄鉄製φ75	バルコニー隔て板	既存	石綿セメント板t=5.0(平板) VE塗装 枠：スチール製	
	改修	既存ドレイン上皿撤去・撤出・処分共 改修ドレイン取替 80φ		改修	下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面、注意ステッカー貼 両面 枠：下地調整（RB種）、錆止め塗装の上DP塗 <small>枠-D棟:スチール塗装、E・F棟:アルミ製-洗浄</small>	
縦樋	既存	VPφ75	バルコニー手摺	既存	ステンレス製 バルコニーパネルボード	
	改修	下地調整（RB種）の上DP塗		改修	高圧洗浄処理 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面	
軒天	既存	PC版下地アクリル系リシン吹付	窓手摺	既存	ステンレス製	
	改修	高圧洗浄、下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗		改修	現況維持	
外壁	既存	PC版下地アクリル系リシン吹付	台所用排水管	既存	VPφ65	
	改修	高圧洗浄、下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗		改修	下地調整（RB種）の上DP塗	
庇	既存	PC版下地アクリル系リシン吹付	EPS屏 床下改め口	既存	スチール製 OP塗	
	改修	高圧洗浄、下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗		改修	下地調整（RB種）、錆止め塗装の上DP塗 EPS屏：片面、床下改め口：片面	
PCジョイント部分	既存	建築用ウレタンシーリング材	外部 棟番号 電気及び電話引込ボックス 及びケーブル配管	既存	スチール製OP塗、プラスチック製他	
	改修	既存シーリング撤去・処分の上 シーリング（PU-2）打替 ※詳細は、平面図及び立面図の防水箇所一覧表を参照。		改修	下地調整（RB種）、錆止め塗装の上DP塗	
			屋上マンホールラップ	既存	D号棟：スチール製 E・F号棟：ステンレス製	
				改修	D号棟：取替・撤去処分 E・F号棟：高圧洗浄処理	
			玄関扉	既存	スチール製 OP塗	
				改修	D棟のみ：扉両面下地調整（RB種）、錆止め塗装の上DP塗（F☆☆☆☆）（室番号：カッティングシート貼）	
			避難口	既存	スチール製 OP塗D号棟 ステンレス製 E・F号棟	
				改修	D号棟：取替・撤去処分 E・F号棟：高圧洗浄処理	
			階段室 EPS屏	既存	スチール製 OP塗	
				改修	E号・F号棟のみ：既存シーリング撤去・処分の上 シーリング（PU-2）打替 ※詳細は、平面図及び立面図の防水箇所一覧表を参照。	

- 特記事項 ■
- ・鋼製建具サイズは下記とする。
  - ・玄関扉：W600×H1,900
  - ・EPS屏：W2,220×H2,360（D号棟）
  - ・EPS屏：W2,500×H2,360（E、F号棟）
  - ・床下改め口：W600×H570（D号棟）
  - ・避難口：600×600



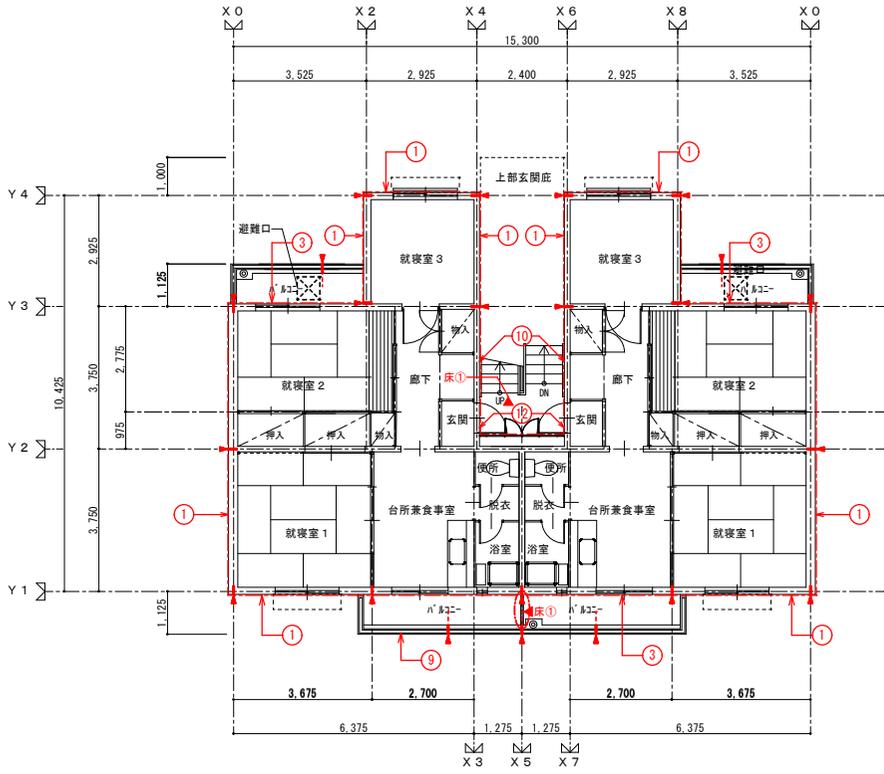
株式会社 榎 藤岡 設計  
 大田登録第186945号  
 茨城県石岡市正上内12番1号

知事登録第 A3453号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

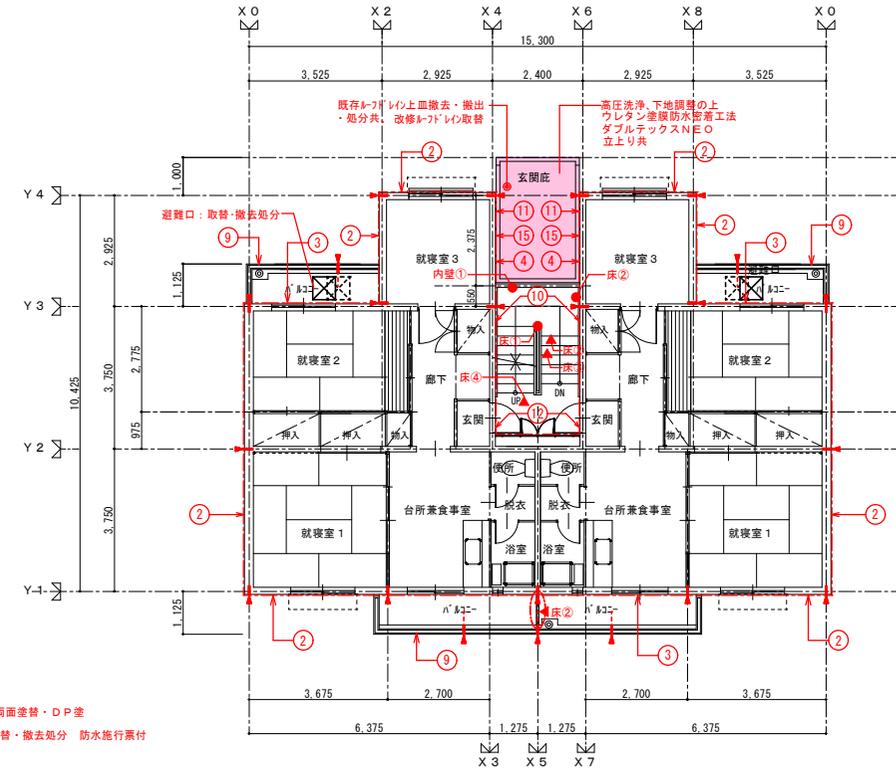
承認 設計 担当

縮尺 No.SCALE  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補 市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 仕上表(D、E、F号棟)



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

※玄関ドア：各戸、両面塗装・DP塗  
 ※マンホール蓋：取替・撤去処分 防水施行票付

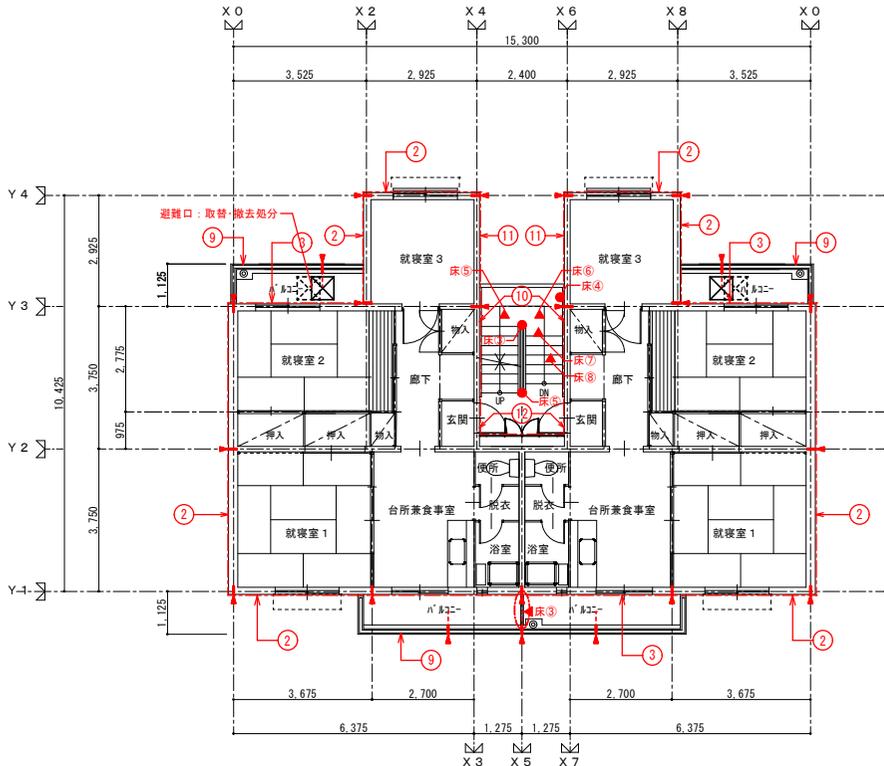
●	階段・バルコニー 補修表 (D号棟)				●	階段・バルコニー 補修表 (E号棟)											
	場所	補修箇所・階	数量(W×H×D)	補修方法		場所	補修箇所・階	数量(W×H×D)	補修方法								
●	階段室 (床)	床① 2F	400×100×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (樹脂コラーゲル撤去後鉄筋露出の上 叩込錆止め塗装球 樹脂砂)	●	階段室 (天井)	天③ 2F	100×150×40	●	階段室 (床)	床⑨ 4F	960×110×40	▲	階段室 (床)	床① 1F	1150×170×40	
		床② 2F	1300×100×40				天④ 2F	600×300×40			床② 2F	1150×170×40			床② 2F	1150×170×40	
		床③ 3F	400×100×40				天⑤ 4F	100×100×40			床③ 3F	1300×100×40			床③ 3F	1300×100×40	
		床④ 3F	1300×100×40				小計	5ヶ所			床④ 4F	400×100×40			小計	10ヶ所	
		床⑤ 3F	130×60×40				階段室 (内壁)	内壁① 2F			100×100×40	床⑥ 4F			1200×100×40	小計	7ヶ所
		床⑥ 4F	400×100×40				階段室 (天井)	天① 2F			1800×500×40	床⑦ 4F			1200×100×40	天② 2F	1200×300×40
		床⑦ 4F	1200×100×40				小計	7ヶ所			天② 2F	1200×300×40			小計	7ヶ所	

階段・バルコニー 補修表 (D号棟)				階段・バルコニー 補修表 (E号棟)					
場所	補修箇所・階	数量(W×H×D)	補修方法	場所	補修箇所・階	数量(W×H×D)	補修方法		
●	階段室 (床)	床① 2F	400×100×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (樹脂コラーゲル撤去後鉄筋露出の上 叩込錆止め塗装球 樹脂砂)	▲	階段室 (床)	床⑨ 4F	960×110×40	
		床② 2F	1300×100×40				床② 2F	1150×170×40	
		床③ 3F	400×100×40				床③ 3F	1300×100×40	
		床④ 3F	1300×100×40				床④ 4F	400×100×40	
		床⑤ 3F	130×60×40				小計	10ヶ所	
		床⑥ 4F	400×100×40				階段室 (内壁)	内壁① 2F	100×100×40
		床⑦ 4F	1200×100×40				階段室 (天井)	天① 2F	1800×500×40

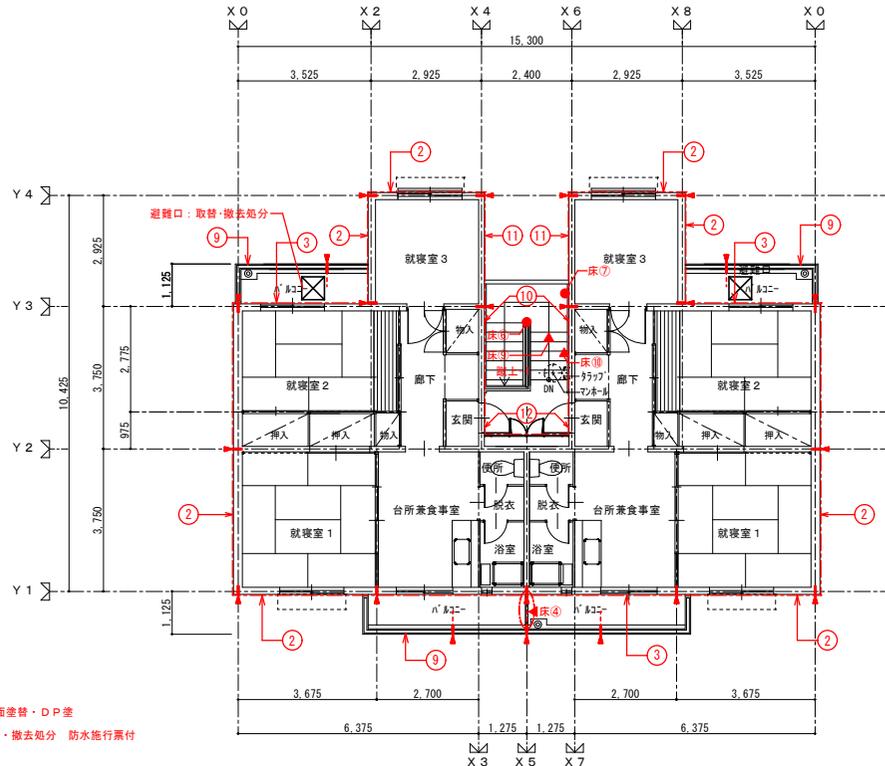
■ 凡例 ■

- ➡ P Cジョイント部を示す。(外壁)
- ➡ P Cジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板：下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様			
	既存	改修	改修					
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑩ 壁 — 床 (踊場・階段ササ)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑪ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材		⑫ 玄関ドア全周	ガラスシート巾120mm貼	建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材		⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口口 (P C板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	
	⑤ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		屋根	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材			⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材					
	⑧ 床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材					
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材					

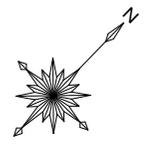


3階平面図 S=1:100



4階平面図 S=1:100

※玄関ドア：各戸、両面差替・DP差  
 ※マンホール蓋：取替・撤去処分 防水施行票付



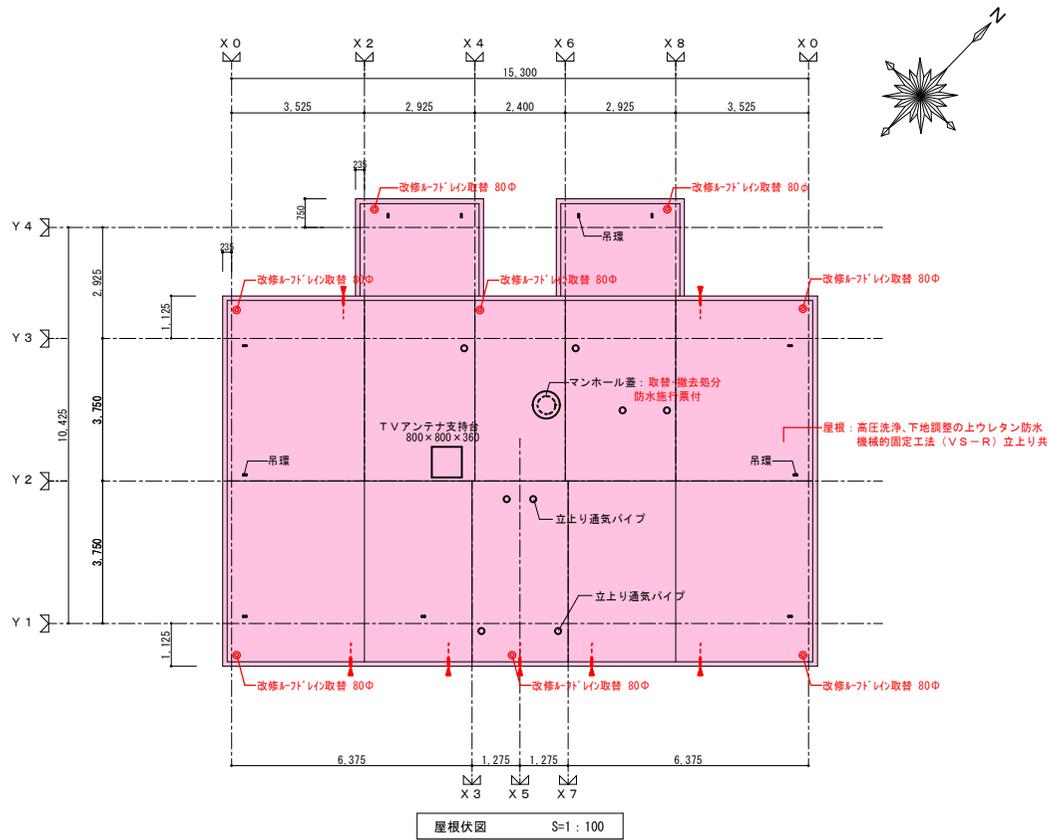
●	階段・バルコニー 補修表 (D号棟)				●	爆裂	階段・バルコニー 補修表 (D号棟)						
	場所	補修箇所・階	数量(W-H-D)	補修方法			場所	補修箇所・階	数量(W-H-D)	補修方法			
●	階段室 (床)	床① 2F	400×100×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (樹脂コラーゲル撤去後鉄筋露出の上 叩込錆止め塗装時 杉樹脂砂)	●	階段室 (天井)	天③ 2F	100×150×40	▲	欠損	階段室 (床)	床⑨ 4F	960×110×40
		床② 2F	1300×100×40				天④ 2F	600×300×40				床⑩ 4F	100×100×40
		床③ 3F	400×100×40				天⑤ 4F	100×100×40				小計	5ヶ所
		床④ 3F	1300×100×40				小計	5ヶ所				床⑪ 1F	960×110×40
		床⑤ 3F	130×60×40				床⑫ 2F	960×120×40				床⑬ 2F	100×100×40
		床⑥ 4F	400×100×40				床⑭ 2F	960×110×40				床⑮ 3F	100×100×40
		床⑦ 4F	1200×100×40				床⑯ 2F	960×110×40				床⑰ 3F	960×160×40
	小計	7ヶ所	床⑱ 2F	100×100×40	床⑲ 3F	1000×400×40							
	階段室 (内壁)	内壁① 2F	100×100×40	1ヶ所	▲	階段室 (床)	床⑳ 2F	100×100×40	▲	欠損	階段室 (床)	床㉑ 2F	100×100×40
		小計	1ヶ所				床㉒ 2F	1000×400×40				床㉓ 2F	960×160×40
階段室 (天井)	天① 2F	1800×500×40	7ヶ所	▲	階段室 (床)	床㉔ 2F	100×100×40	▲	欠損	階段室 (床)	床㉕ 3F	100×100×40	
	天② 2F	1200×300×40				床㉖ 3F	100×100×40				床㉗ 3F	100×100×40	

▲	階段・バルコニー 補修表 (D号棟)				▲	欠損	階段・バルコニー 補修表 (D号棟)						
	場所	補修箇所・階	数量(W-H-D)	補修方法			場所	補修箇所・階	数量(W-H-D)	補修方法			
▲	階段室 (床)	床⑨ 4F	960×110×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (樹脂コラーゲル撤去後鉄筋露出の上 叩込錆止め塗装時 杉樹脂砂)	▲	階段室 (天井)	天③ 2F	100×150×40	▲	欠損	階段室 (床)	床⑩ 4F	100×100×40
		床⑩ 4F	100×100×40				天④ 2F	600×300×40				床⑪ 1F	1150×170×40
		小計	10ヶ所				天⑤ 4F	100×100×40				床⑫ 2F	1150×170×40
		小計	10ヶ所				天⑥ 4F	100×100×40				床⑬ 3F	1150×170×40
		床⑬ 3F	1150×170×40				天⑦ 2F	1150×170×40				床⑭ 4F	1150×170×40
		床⑭ 4F	1150×170×40				天⑧ 2F	1150×170×40				小計	4ヶ所
		小計	4ヶ所				天⑨ 2F	1150×170×40				小計	4ヶ所
	小計	4ヶ所	天⑩ 2F	1150×170×40	小計	4ヶ所							
	バルコニー (床)	床① 1F	1150×170×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法 (樹脂コラーゲル撤去後鉄筋露出の上 叩込錆止め塗装時 杉樹脂砂)	▲	バルコニー (床)	床② 1F	1150×170×40	▲	欠損	バルコニー (床)	床③ 1F	1150×170×40
		床② 2F	1150×170×40				床④ 2F	1150×170×40					

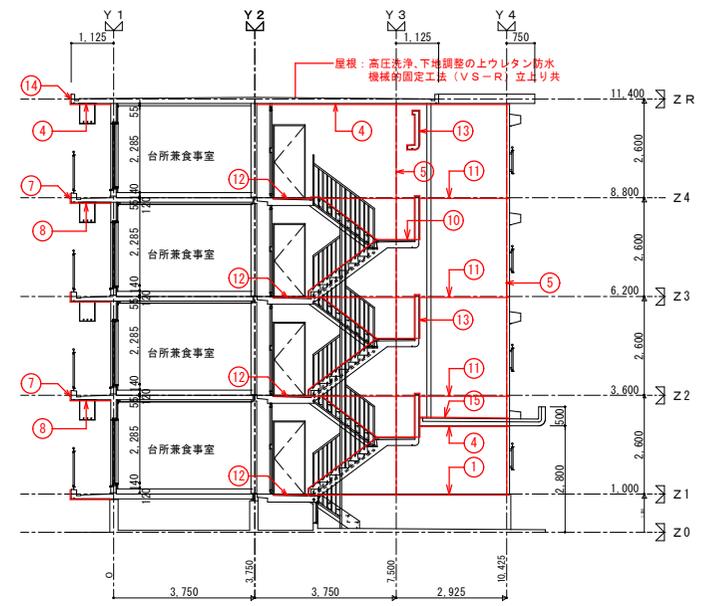
■ 凡例 ■

- ➡ PCジョイント部を示す。(外壁)
- ➡ PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板：下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様		
	既存	改修	既存		改修		
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑩ 壁 - 床 (踊場・階段ササ)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑪ 壁 - 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材		⑫ 玄関ドア全周	ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材		⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口口 (PC板)	建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑤ 外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑭ 屋根庇先端	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器廻り(外壁部)	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		⑮ 屋根軒先笠木	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	屋根			
	⑧ 床 - 床 (下部)	縦目地	建築用ウレタンシーリング材				
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材				



屋根伏図 S=1:100



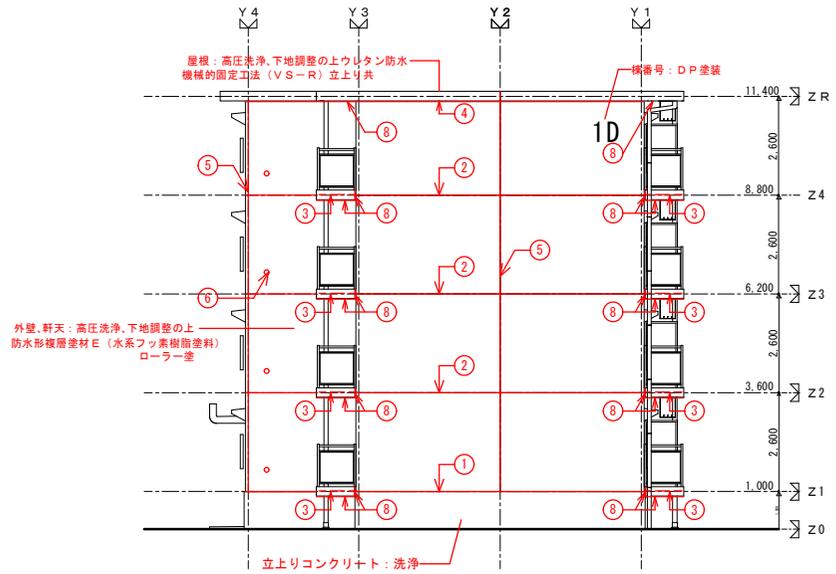
断面図 S=1:100

※玄関ドア: 各戸、両面塗替・DP塗  
 ※マンホール蓋: 取替・撤去処分 防水施行票付

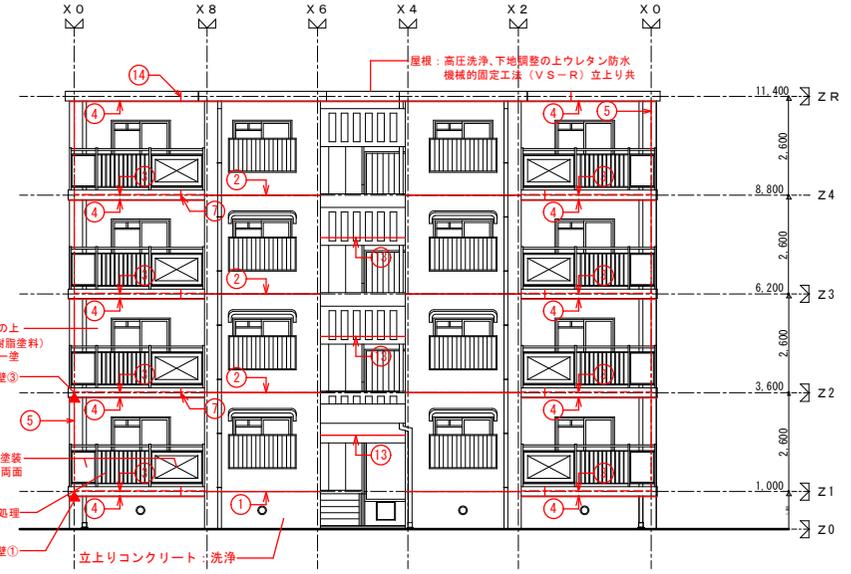
■ 凡例 ■

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面

防水箇所			材料・仕様		防水箇所			材料・仕様		
			既存	改修				既存	改修	
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑩	壁 — 床 (踊場・階段ササラ)	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑪	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材		⑫	玄関ドア全周	ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材		⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口 (PC板)	建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	⑤	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑭	屋根庇先端	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材		⑮	屋根軒先笠木	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材						
	⑧	床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材						
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材						



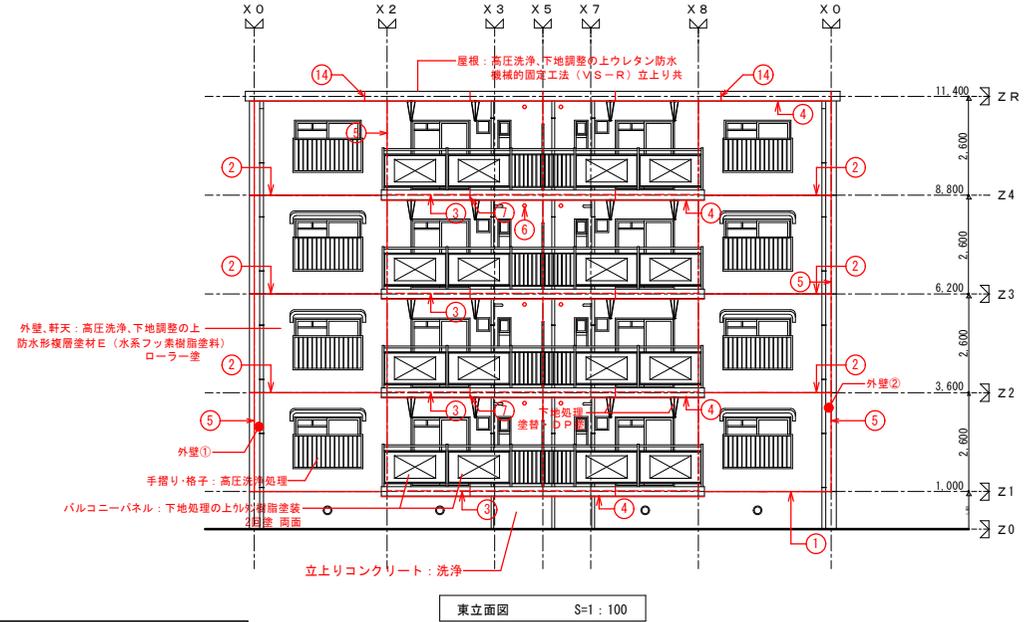
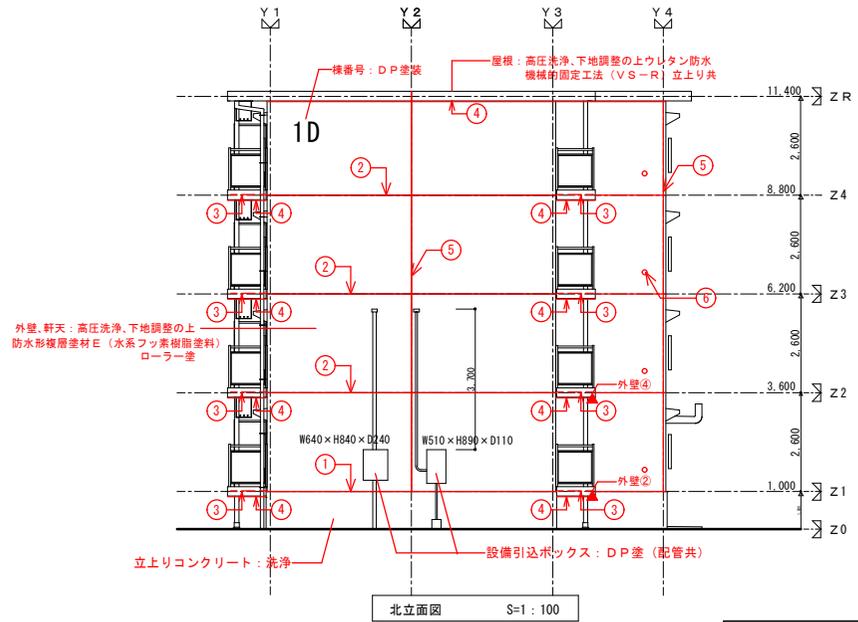
南立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100

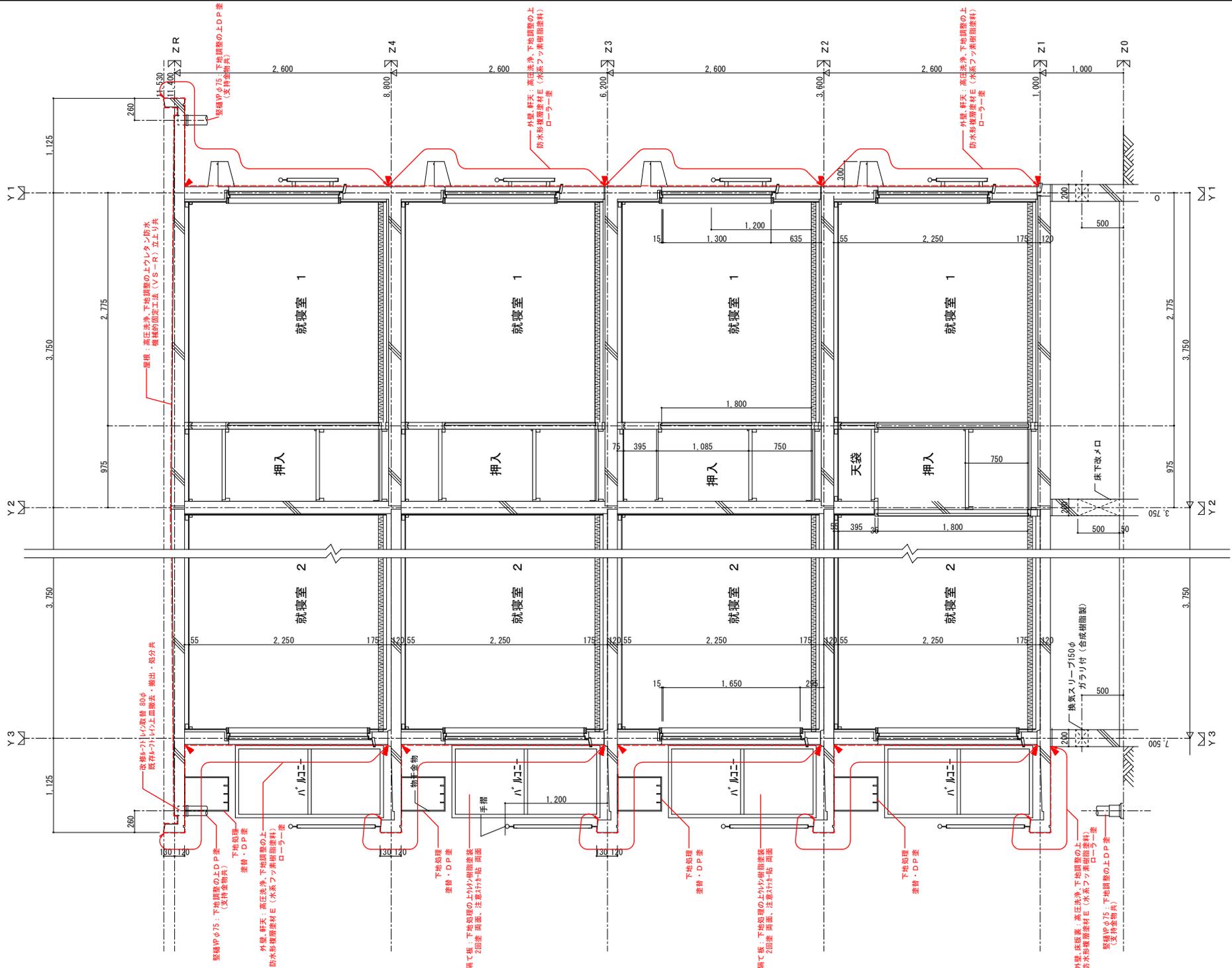
階段・バルコニー 補修表 (D号棟)			
場所	補修箇所・層	数量 (㎡+0)	補修方法
● 爆裂	外壁① 1F	1200×100×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法
	外壁② 1F	100×100×40	
	小計	2ヶ所	
▲ 欠損	外壁① 1F	400×0.2~1.0	(艶消し剤)撤去後鉄筋露出しの上 印込錆止め塗装(※ 杉樹脂系)
	外壁② 1F	400×0.2~1.0	
	外壁③ 2F	400×0.2~1.0	
	外壁④ 2F	400×0.2~1.0	
小計	4ヶ所		

防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修			既存	改修
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40, バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑩ 壁 - 床 (踊場・階段ササラ)		バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40, バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑪ 壁 - 壁	横目地	テープ状シール材15×40, バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材		⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材		⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口 (P.C板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)
	⑤ 外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材		⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	屋根			
	⑧ 床 - 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材				
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材				



階段・バルコニー 補修表 (D号棟)				
	場所	補修箇所・層	数量(㎡+0)	補修方法
●	外壁	外壁① 1F	1200×100×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法
		外壁② 1F	100×100×40	
		小計	2ヶ所	
▲	外壁	外壁① 1F	400×0.2~1.0	(艶消し剤)撤去後鉄筋露出の上 印込錆止め塗装(※樹脂系)
		外壁② 1F	400×0.2~1.0	
		外壁③ 2F	400×0.2~1.0	
		外壁④ 2F	400×0.2~1.0	
		小計	4ヶ所	

防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修			既存	改修
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	⑩ 壁 - 一床(踊場・階段ササラ)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	② 外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	⑪ 壁 - 一壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口口(P.C板)		建築用ウレタンシーリング材(内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤ 外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り(外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材				
	⑧ 床 - 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材				
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材				



矩 計 図 S=1:30

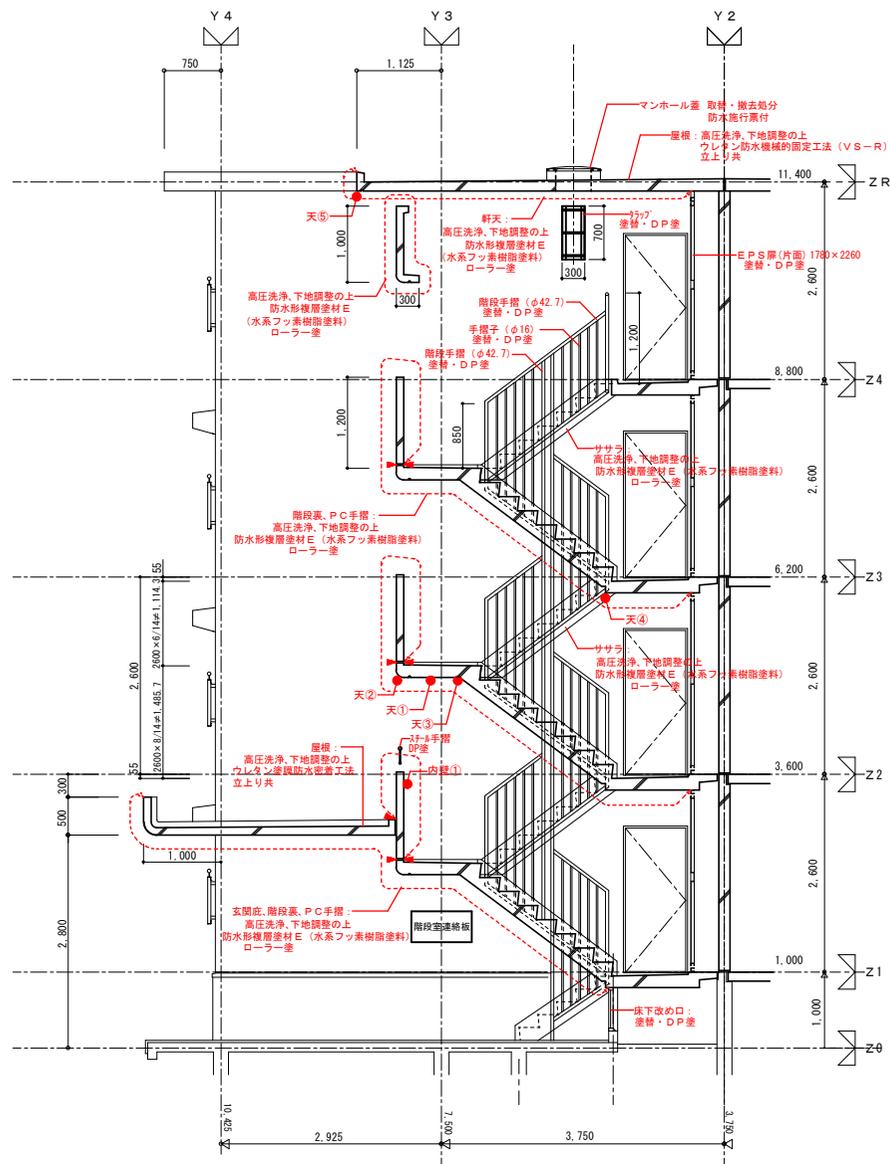
■ 凡例  
 ▲ シーリングを示す。(P.U-2)


**森 園 設 計**  
 大田 彦 雄 第185945号  
 茨城県石岡市正上内12番1号

如事登録第 A3453号  
 一級建築士 森園和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認	設計	担当	縮尺
			S=1:30
			設計年月日
			R1.09.25

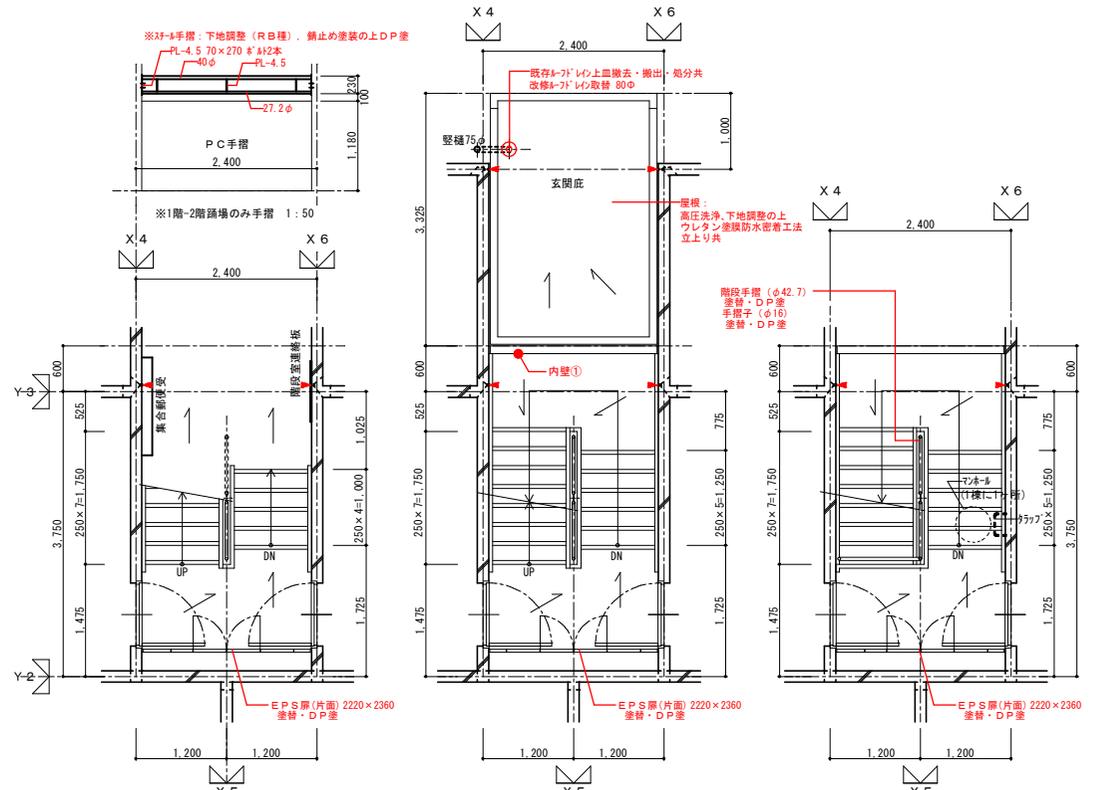
工事名称 R元 国補市営正上内分団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 D号棟 矩計図



断面詳細図 S=1:50

階段補修表 (D号棟)			
場所	補修箇所・階	数量 (W×H×D)	補修方法
● 爆裂	階段室 (天井)	天① 2F 1800×500×40	エポキシ樹脂モルタル充填工法
	階段室 (天井)	天② 2F 1200×300×40	
	階段室 (天井)	天③ 2F 100×150×40	
	階段室 (天井)	天④ 2F 600×300×40	
	階段室 (天井)	天⑤ 2F 100×100×40	
階段室 (内壁)	内壁① 2F 100×100×40	小計 5ヶ所	脆弱コンクリート除去後鉄筋露出しの上 叩込閉止め塗装材(樹脂系)
階段室 (内壁)	小計 1ヶ所		
※A-9記載			

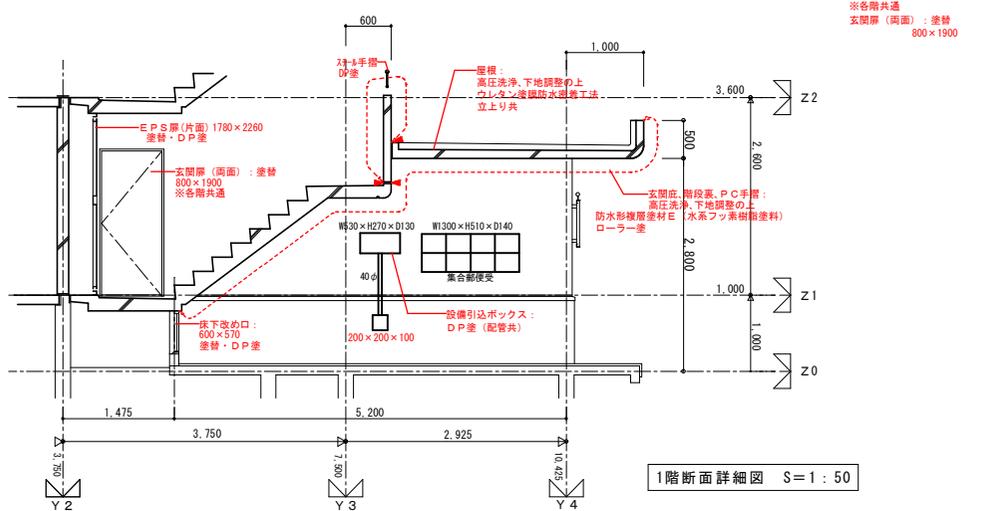
■ 凡例 ■  
 ● シーリングを示す。(PU-2)



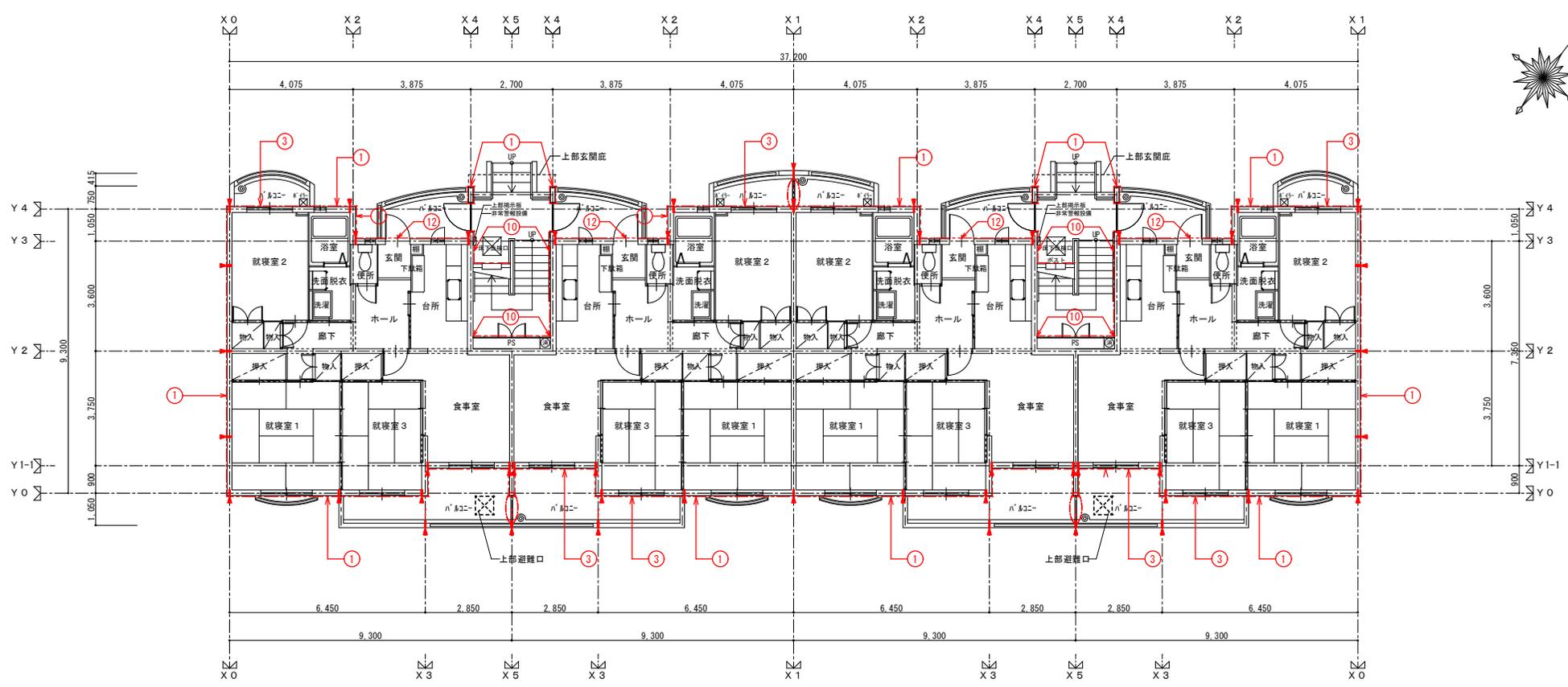
1階平面詳細図 S=1:50

2階平面詳細図 S=1:50

4階平面詳細図 S=1:50



1階断面詳細図 S=1:50

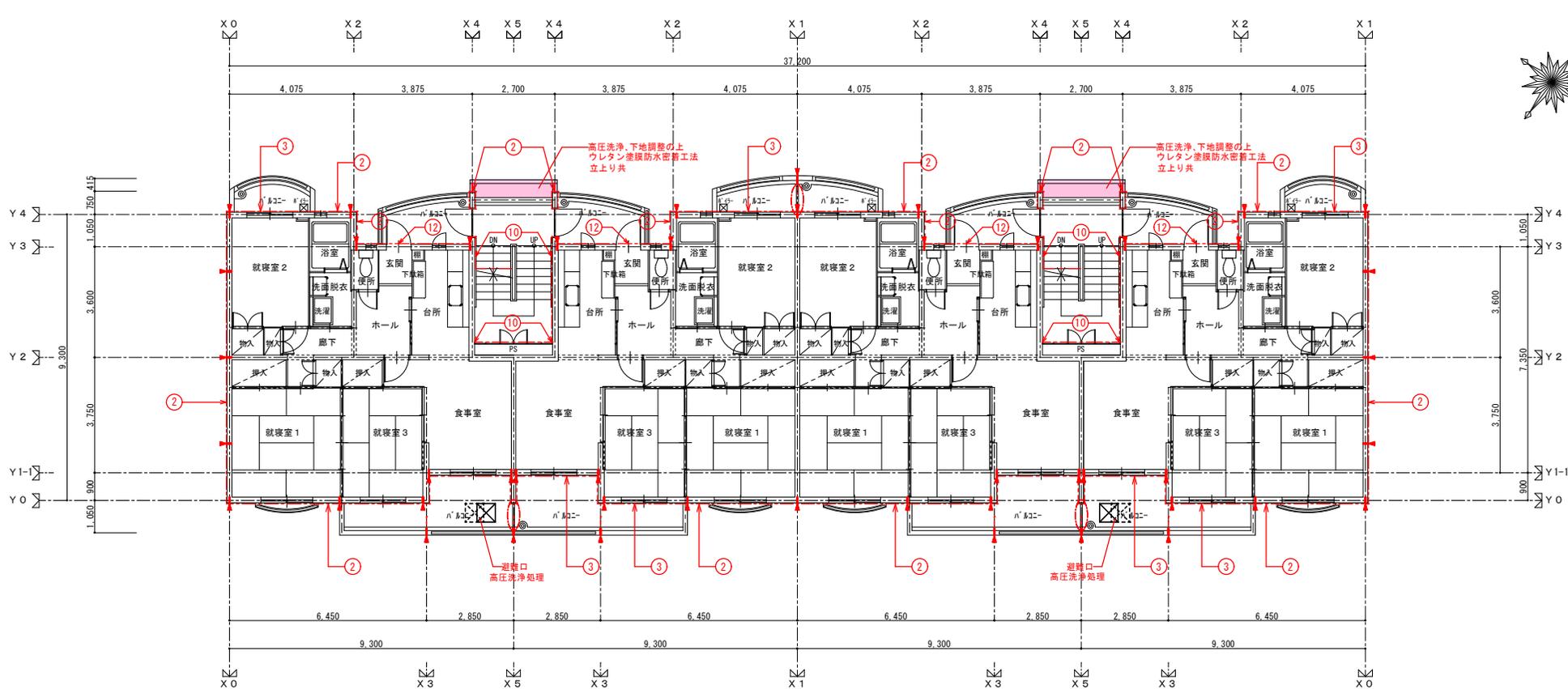


1階平面図 1:100

**凡例**

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様			防水箇所		材料・仕様				
		既存	改修	改修							
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室	⑩	壁 — 床(踊場・階段ササ)	PS(三方)E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑪	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口(PC板)		建築用ウレタンシーリング材(内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り(外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10						
	⑧	床 — 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10						
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10						

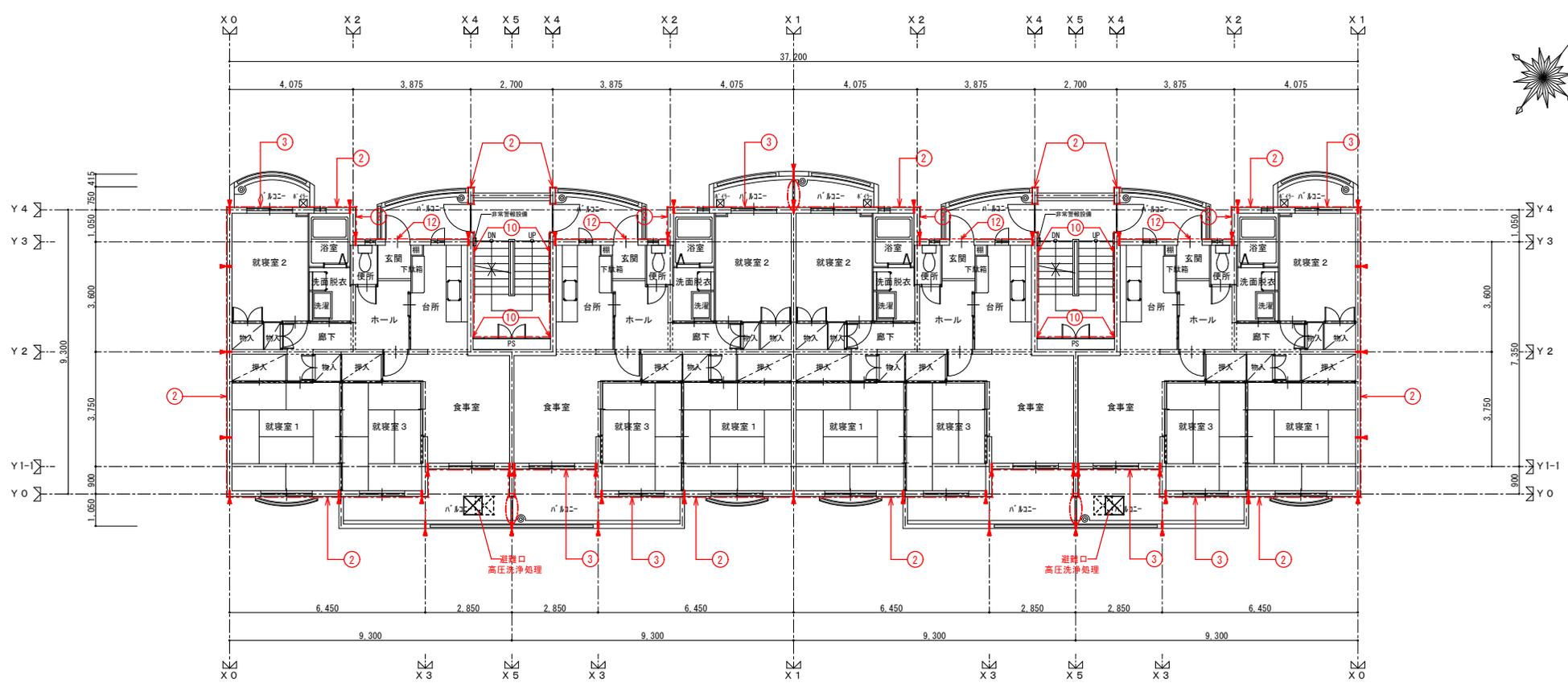


2階平面図 1:100

■ 凡例 ■

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修			既存	改修
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	屋根庇先端	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	屋根軒先笠木	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		
	⑧	床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		
階段室	⑩	壁 — 床 (踊場・階段ササリ)		PS (三方) E号・F号棟			
	⑪	壁 — 壁	横目地				
	⑫	玄関ドア全周					
	⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)					
	⑭	屋根庇先端					
屋根	⑮	屋根軒先笠木					

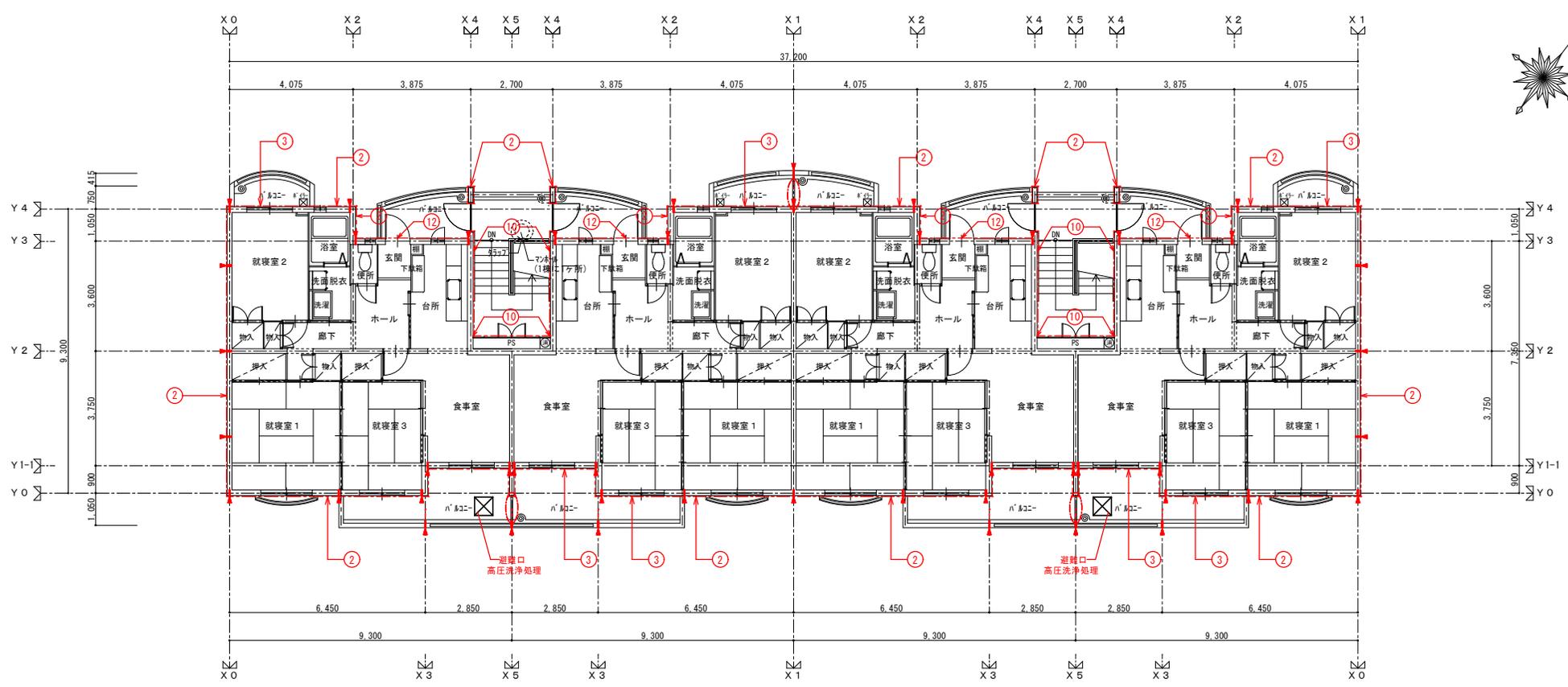


3階平面図 1:100

■ 凡例 ■

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様			防水箇所		材料・仕様				
		既存	改修	改修							
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室	⑩	壁 — 床 (踊場・階段ササ)	PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑪	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	屋根					
	⑧	床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10						
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10						

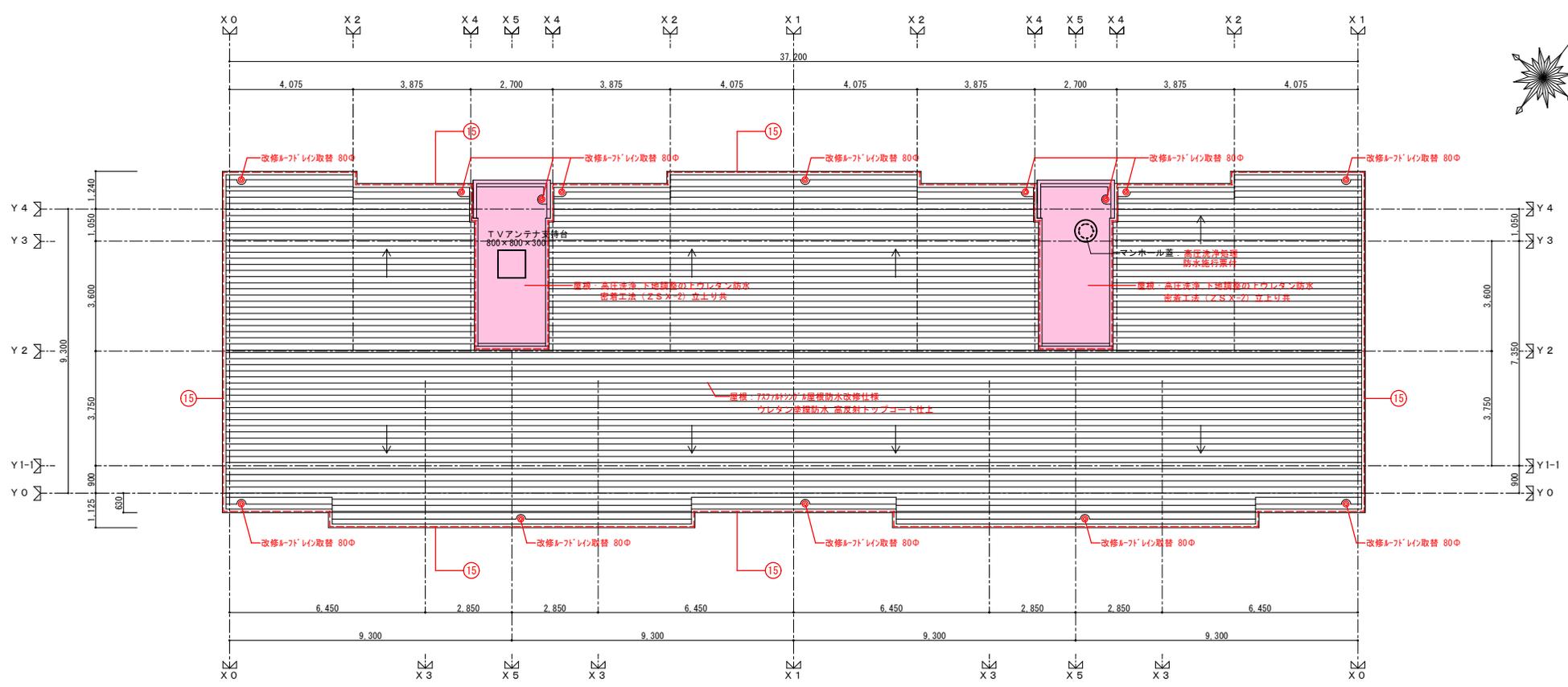


4階平面図 1:100

**凡例**

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様					
		既存	改修			既存	改修				
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室	⑩	壁 — 床 (踊場・階段ササラ) PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑪	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	屋根					
	⑧	床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10						
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10						



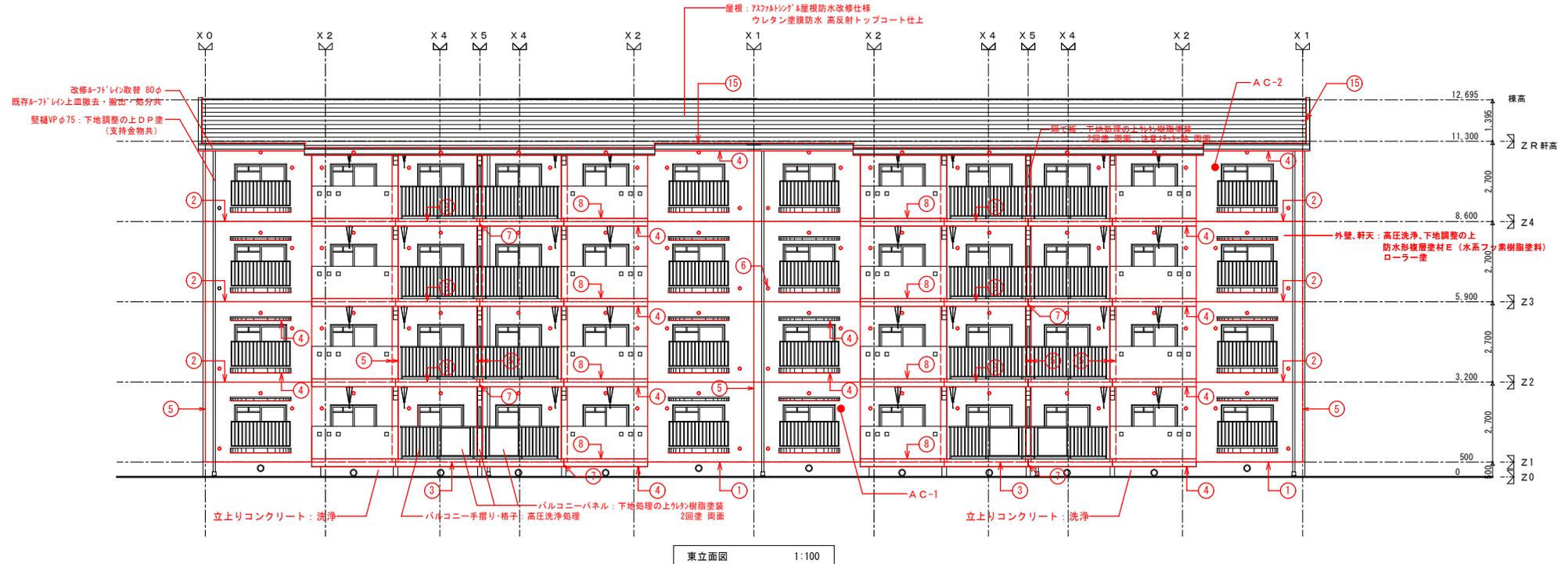
屋根伏図 1:100

■ 凡例 ■

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面

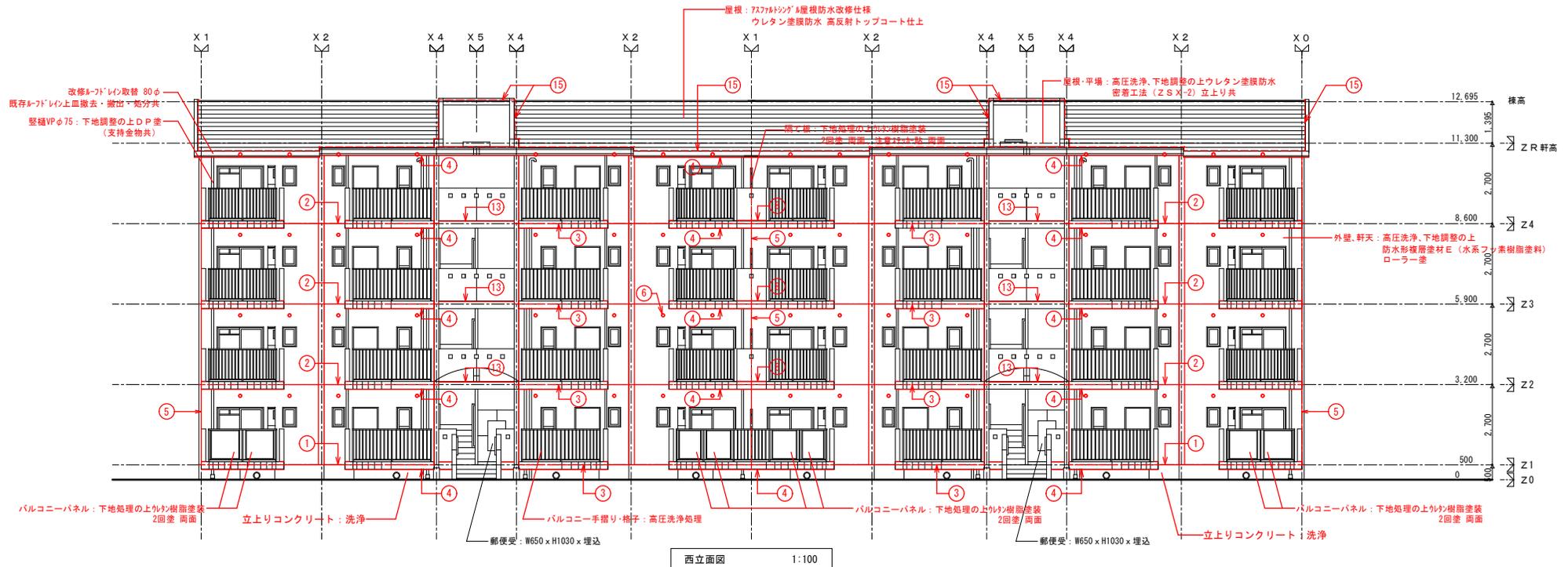
防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様		
		既存	改修			既存	改修	
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑩ 壁 — 床 (踊場・階段ササラ)	PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑪ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	③ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材		⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材		⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑤ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材		⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	屋根				
	⑧ 床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材					
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材					

ACスリーブ 補修表 (E号棟)			
補修箇所		数量	補修方法
● 欠損(爆裂)	AC-1	75φ	新規蓋取付
	AC-2	75φ	
	合計	2箇所	

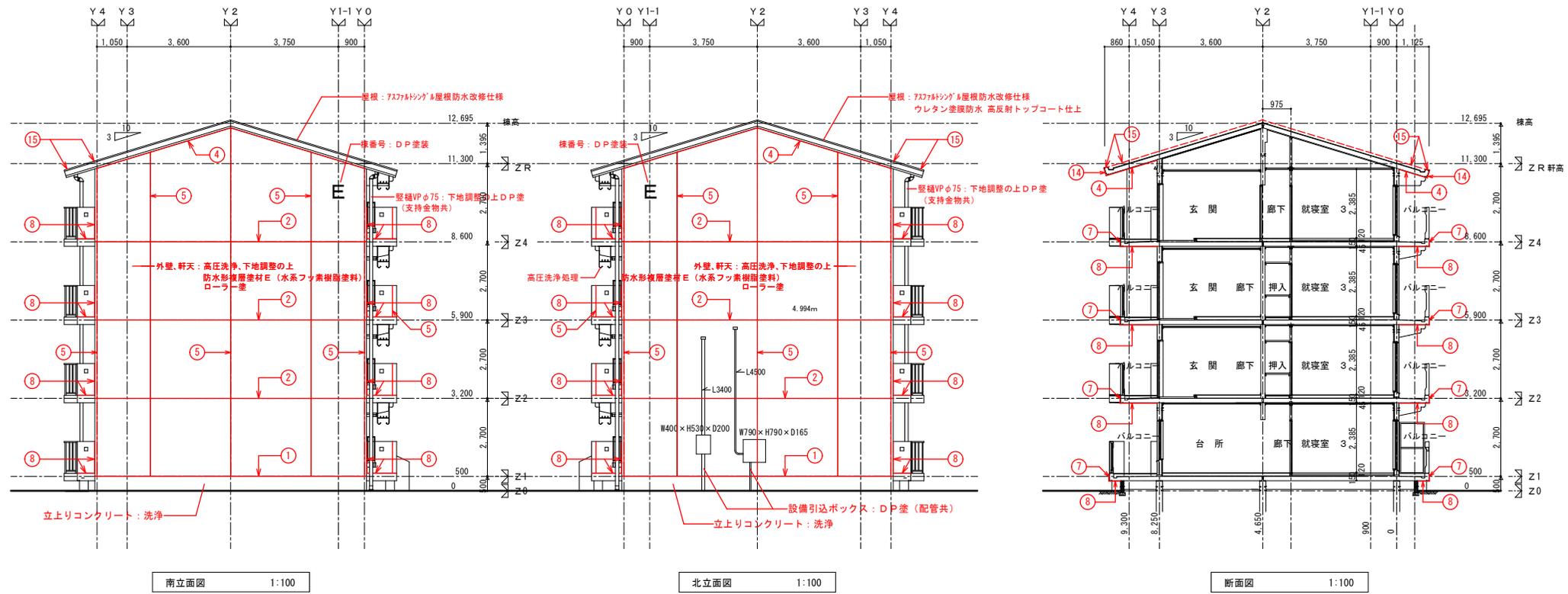


東立面図 1:100

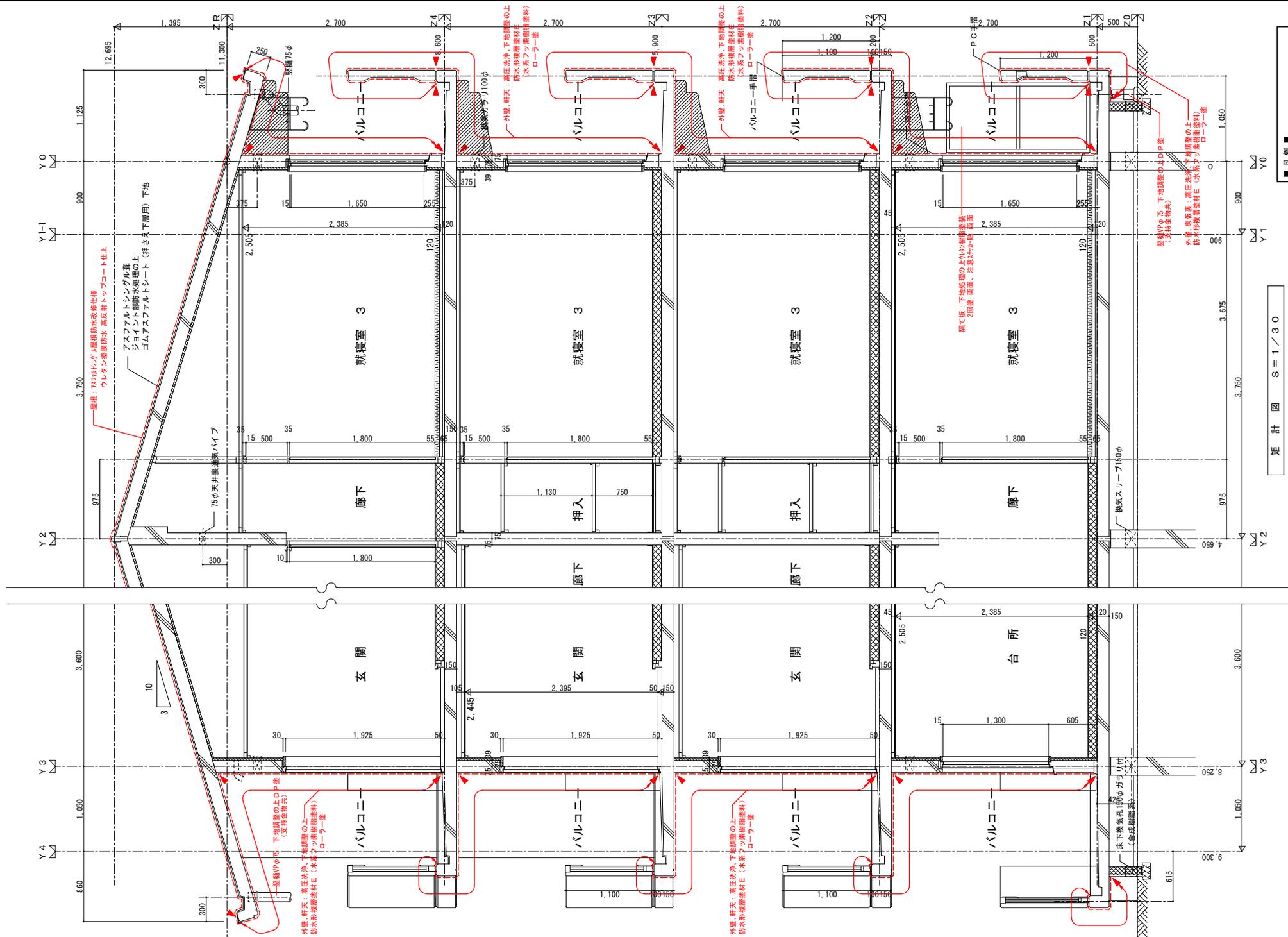
防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	⑩ 壁 - 床 (踊場・階段ササラ)	PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 - 外壁	横目地	⑪ 壁 - 壁	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口口 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)
	⑤ 外壁 - 外壁	縦目地	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アプ廻り (外壁部)		⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部				
	⑧ 床 - 床 (下部)				
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り				



防水箇所			材料・仕様			防水箇所			材料・仕様		
			既存	改修					既存	改修	
外壁	①	外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室	⑩	壁 - 床 (踊場・階段ササラ)	PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	②	外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑪	壁 - 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (P.C板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アプ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	屋根					
	⑧	床 - 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10						
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10						



防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修			既存	改修
外壁	①	外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	②	外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (P.C板)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	屋根庇先端	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	屋根軒先笠木	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		
	⑧	床 - 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		



■ 凡例 ■  
 ▲ シーリングを示す。(P-U-2)

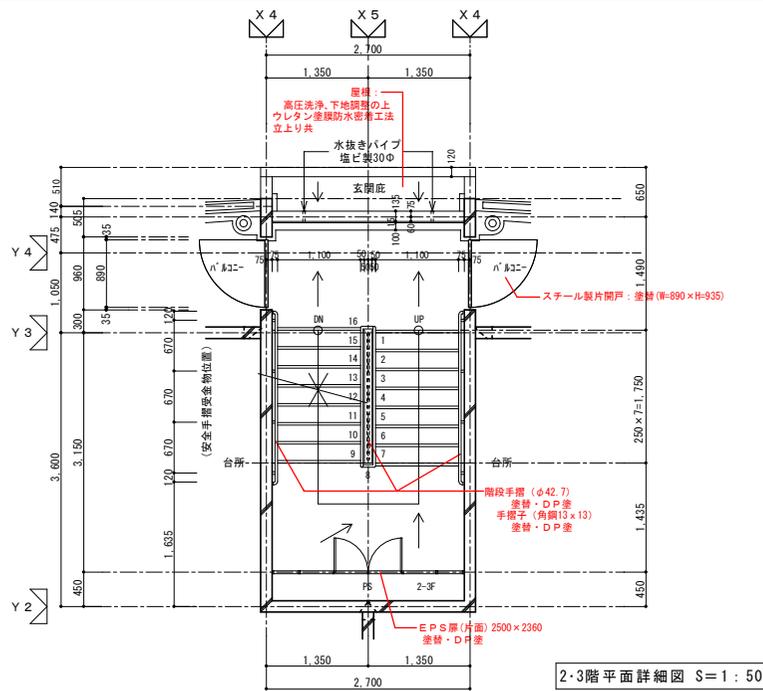
矩 計 図 S = 1 / 3 0



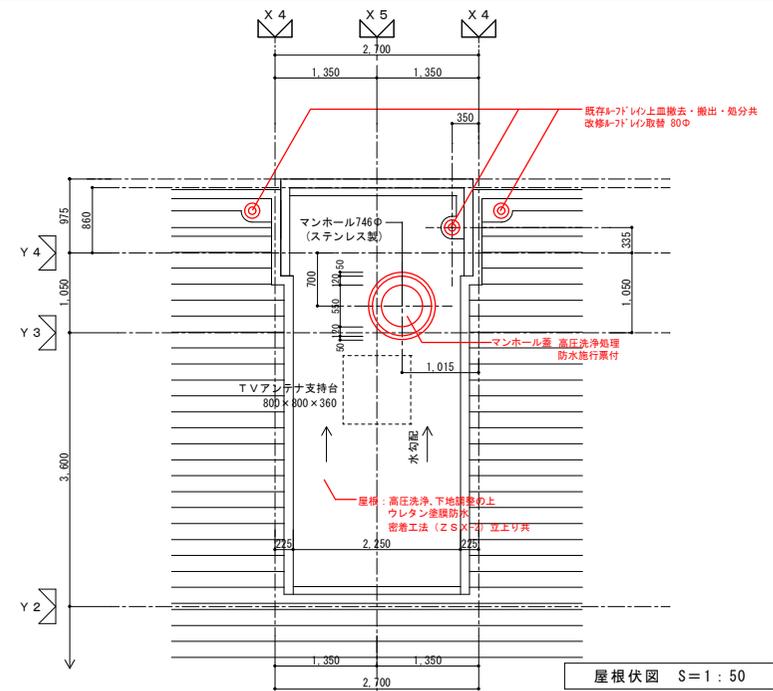
**株式会社 藤岡和雄**  
 大正登録第185945号  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 知事登録第 A 3453号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認	設計	担当	縮尺
			S=1/30
			設計年月日
			R1.09.25

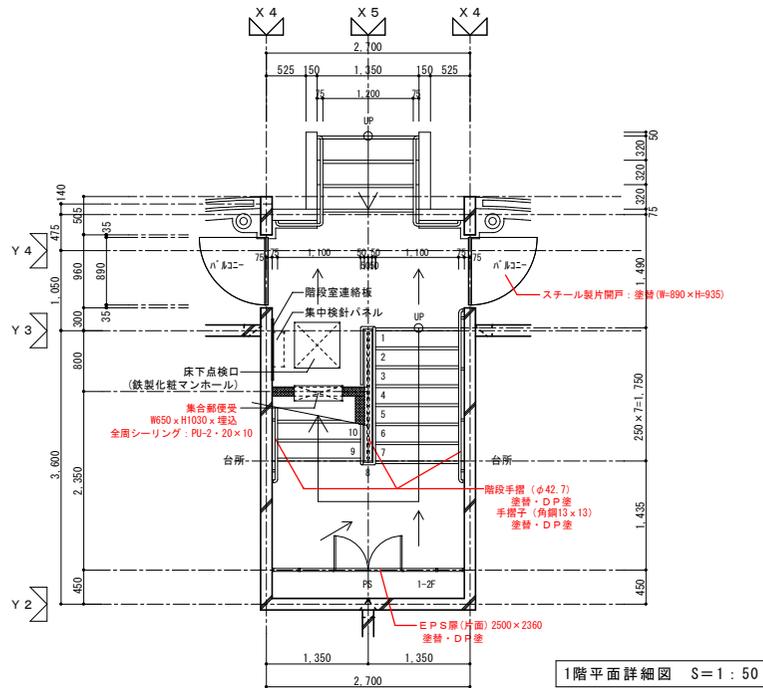
工事名称 R元 国補市営正上内合団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 E号棟 矩計図



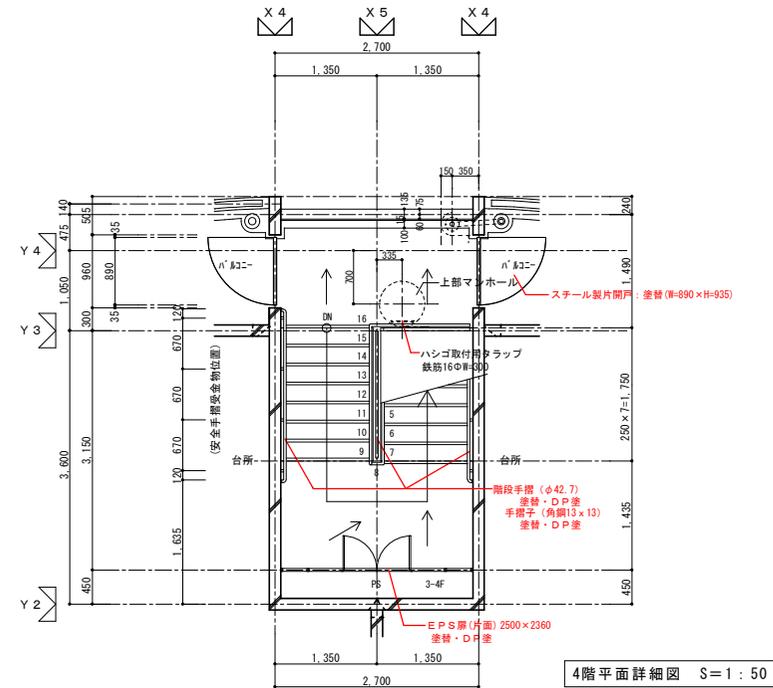
2・3階平面詳細図 S=1:50



屋根伏図 S=1:50



1階平面詳細図 S=1:50



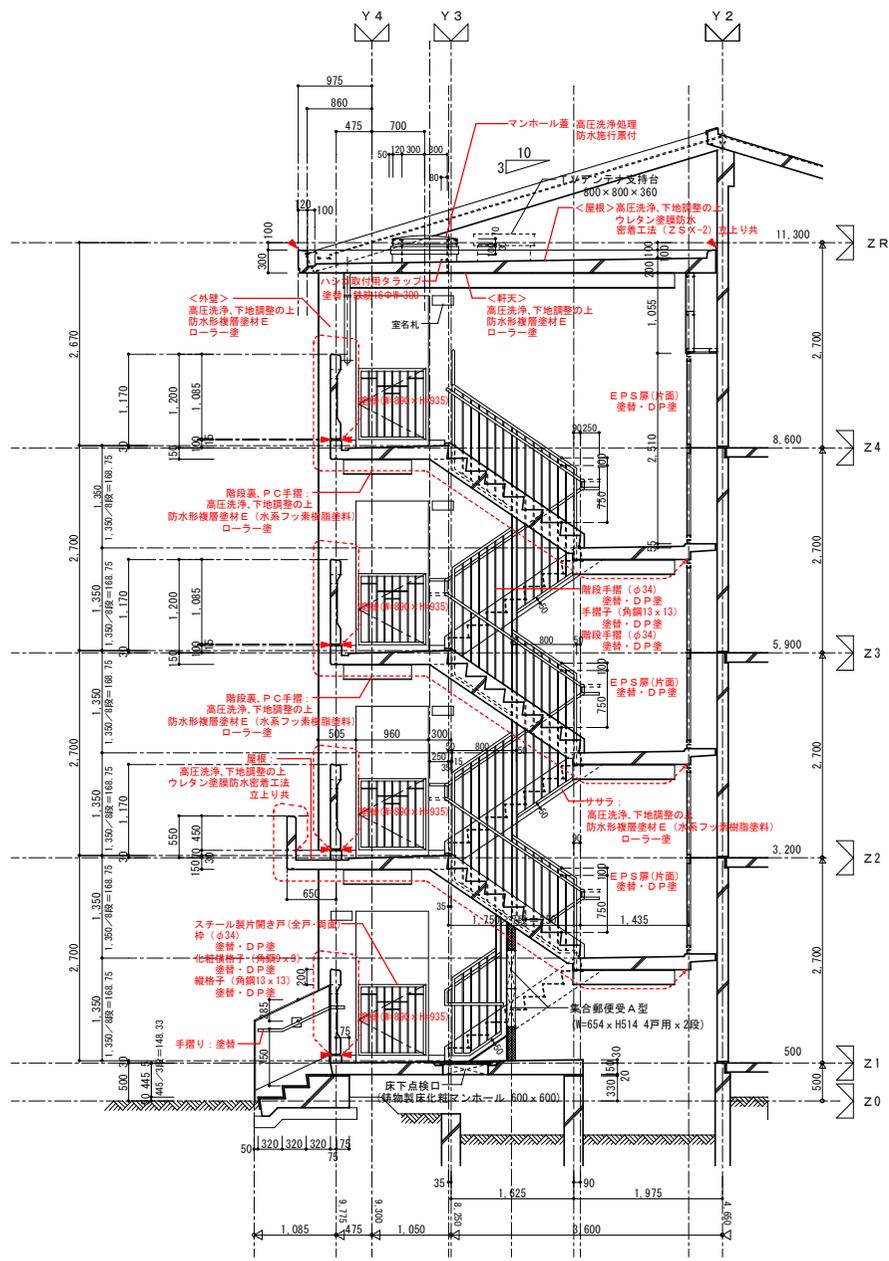
4階平面詳細図 S=1:50



株式会社 藤岡設計  
 大臣登録第185945号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 知事登録第 A 3453号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

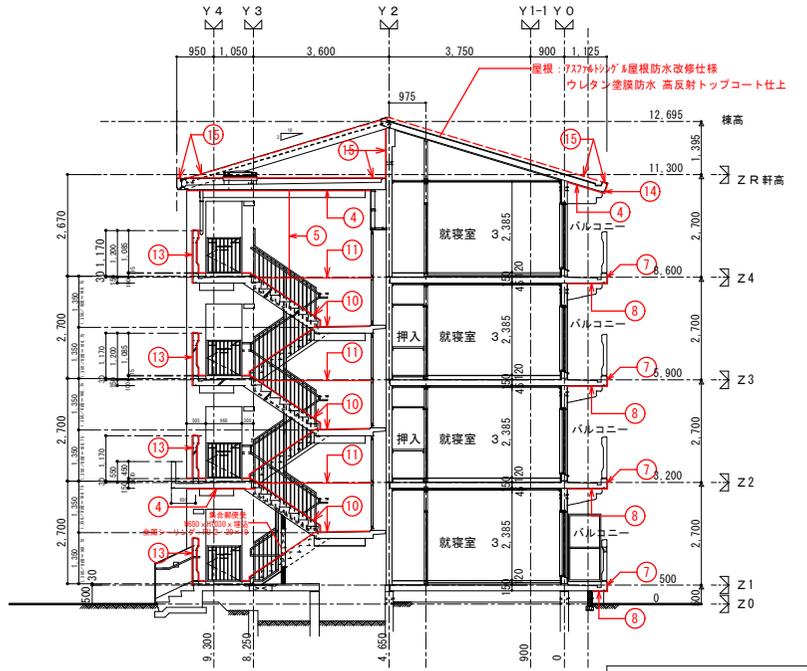
承認 設計 担当  
 縮尺 S=1/50  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 E号棟 階段詳細図-1

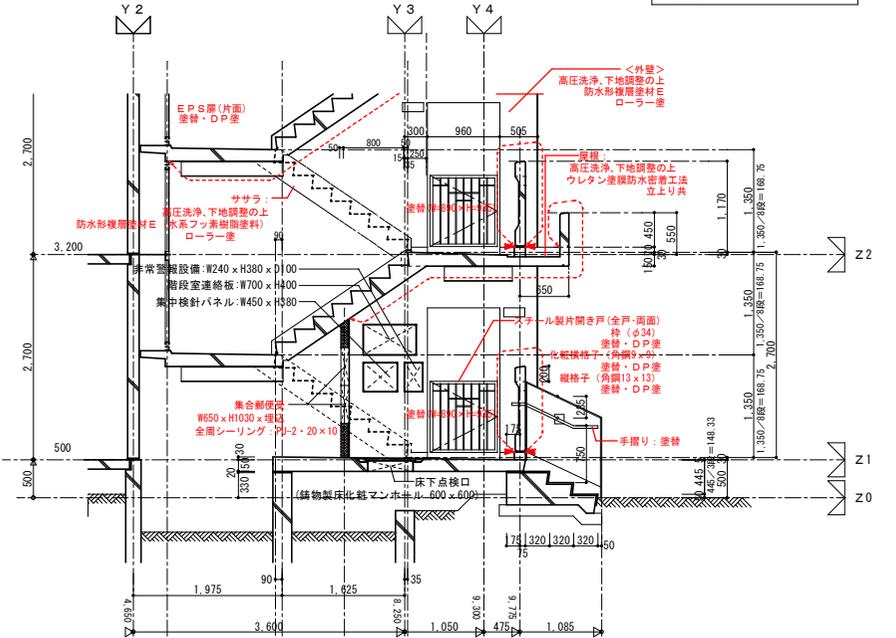


断面詳細図 S=1:50

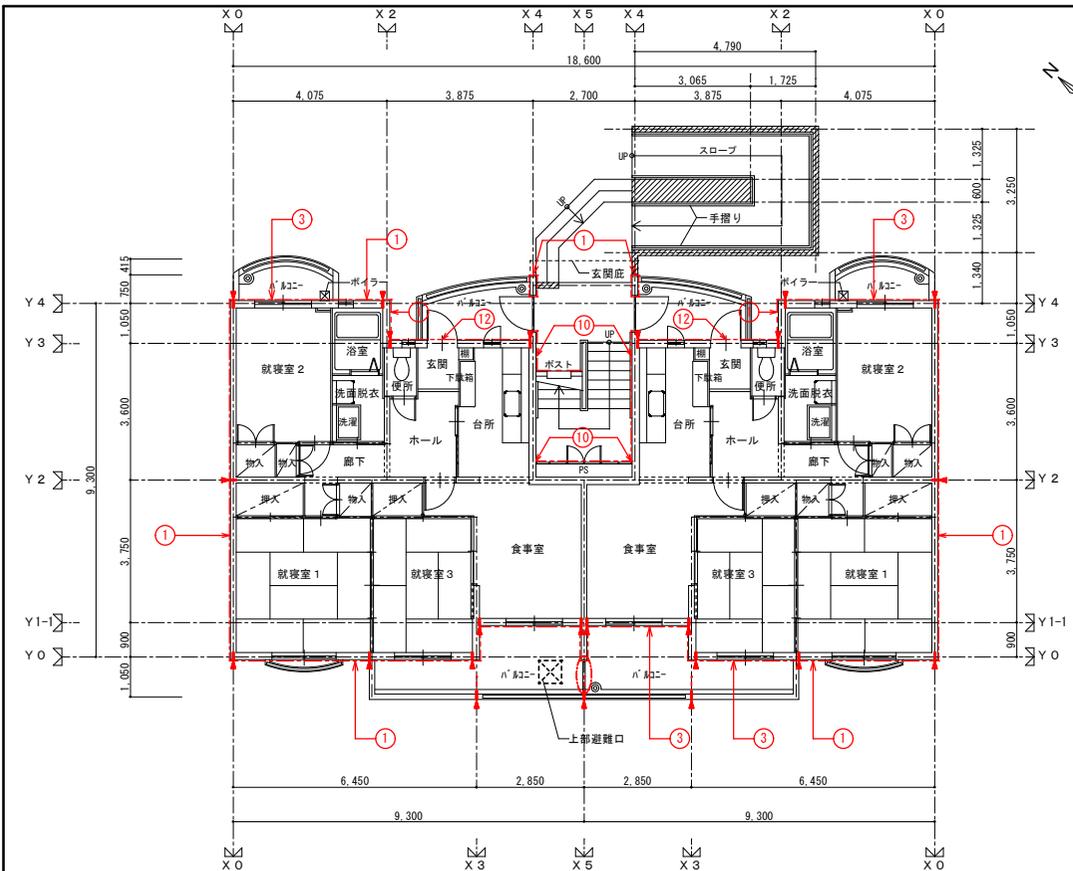
- 凡例 ■  
 ▶ シーリングを示す。(P.U-2)



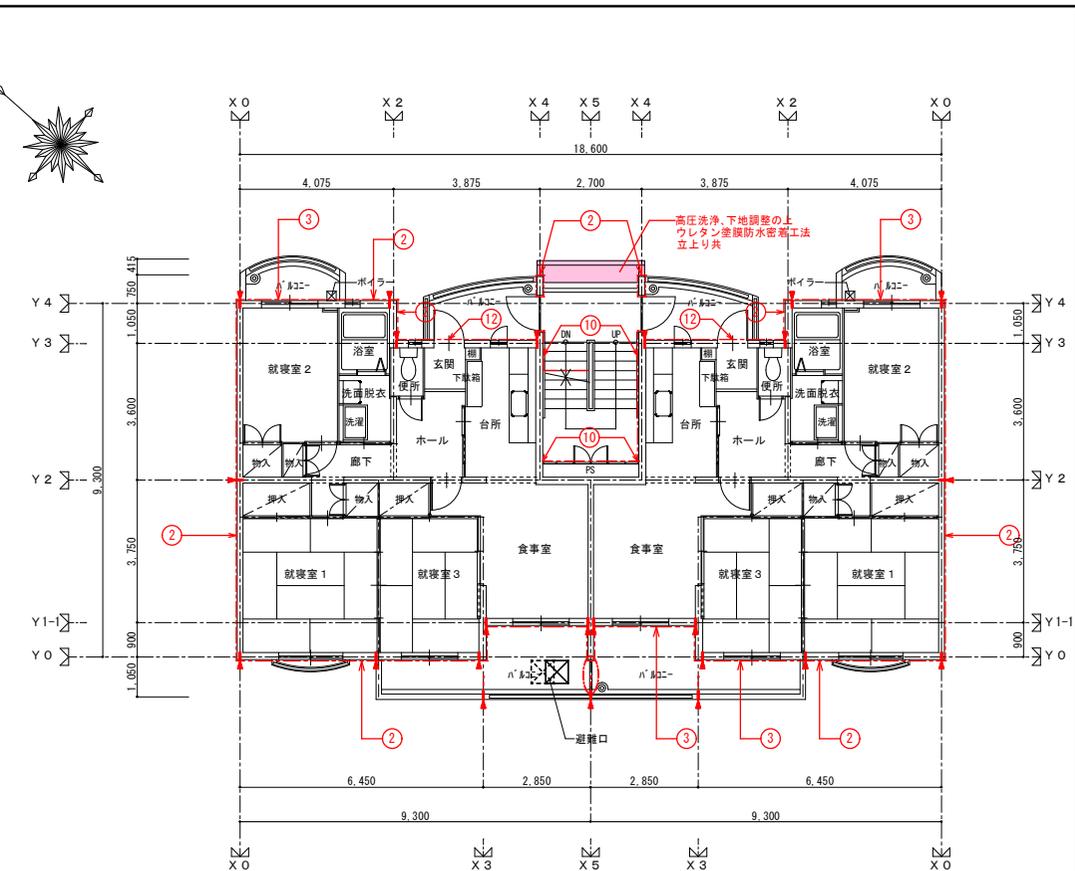
断面図 1:100



断面詳細図 S=1:50



1階平面図 1:100



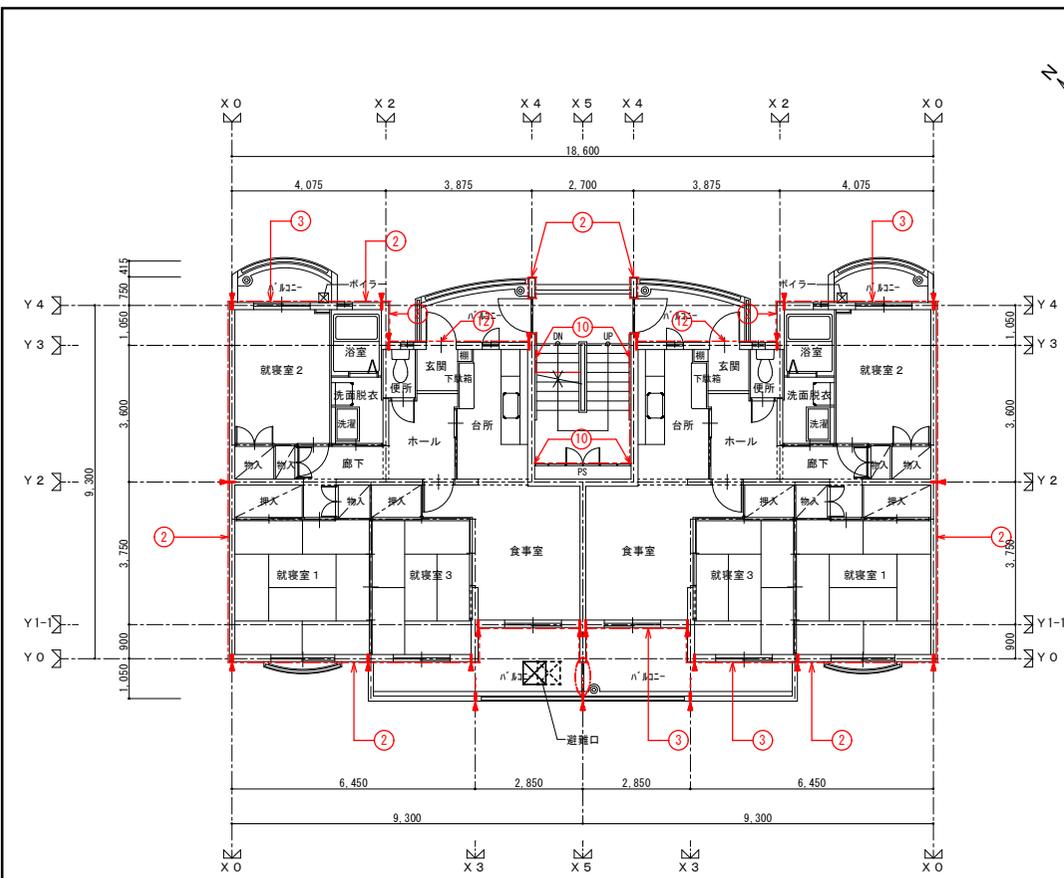
2階平面図 1:100

■ 凡例 ■

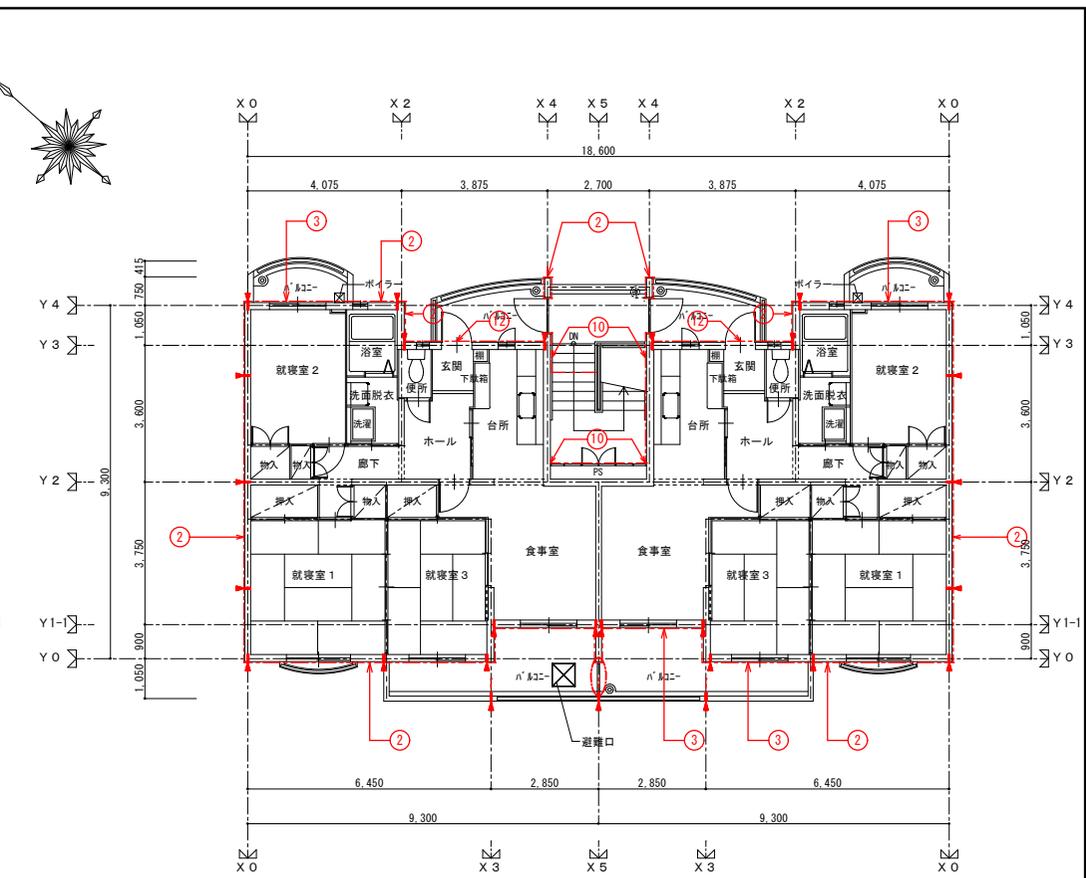
- PCジョイント部を示す。(外壁)
- PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- バルコニー隔て板: 下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所			材料・仕様		
			既存	改修	
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	②	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	③	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	④	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 — 外壁	豎目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器シブ廻り(外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑧	床 — 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10

防水箇所			材料・仕様		
			既存	改修	
階段室	⑩	壁 — 床(踊場・階段ササラ)	PS(三方)E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑪	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口庇(PC板)		建築用ウレタンシーリング材(内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
屋根	⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10



3階平面図 1:100

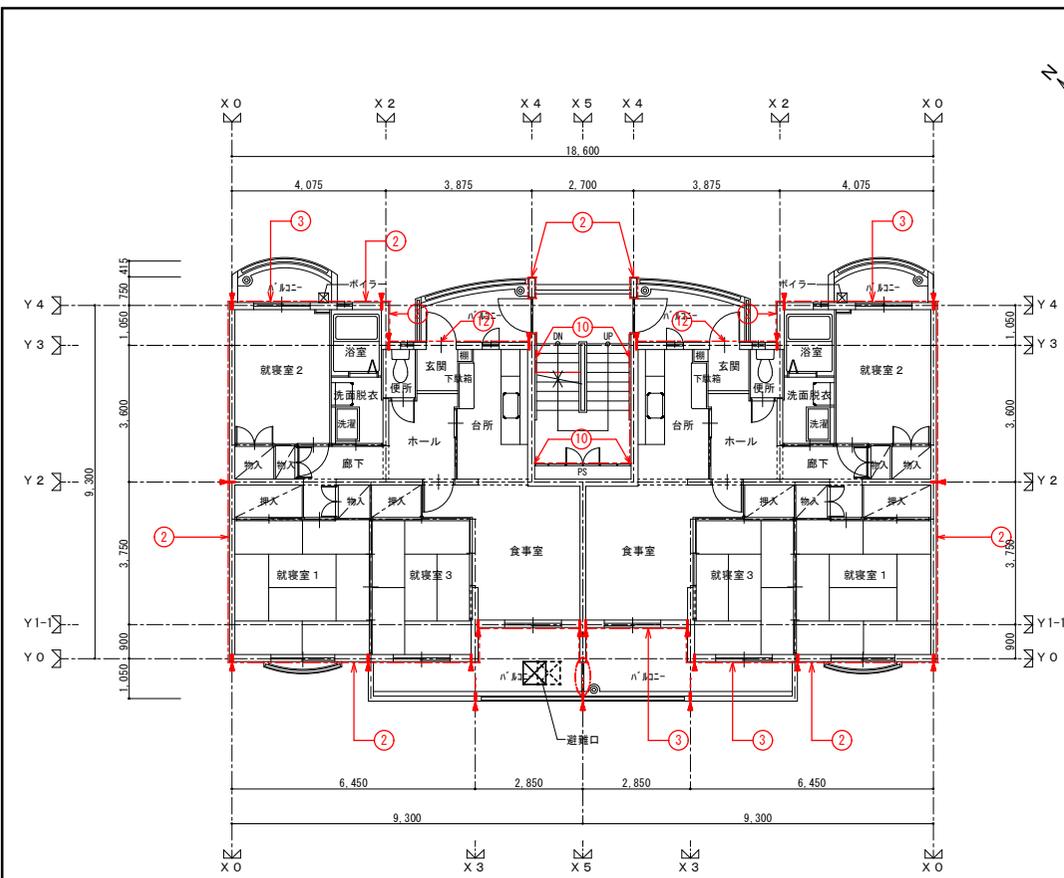


4階平面図 1:100

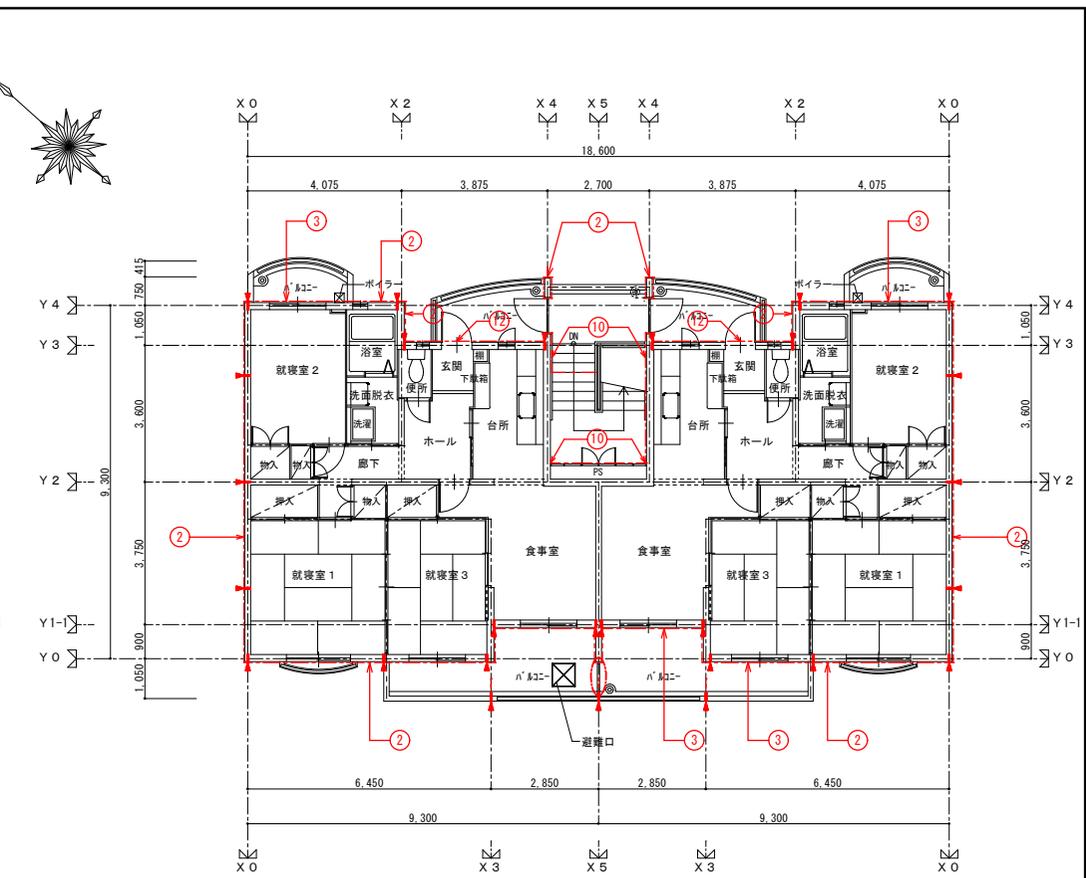
- 凡例 ■
- PCジョイント部を示す。(外壁)
  - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
  - バルコニー隔て板: 下地処理の上り材樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材

防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修
階段室	⑩ 壁 — 床 (踊場・階段ササラ)	PS(三方)E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑪ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)
屋根	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材



3階平面図 1:100

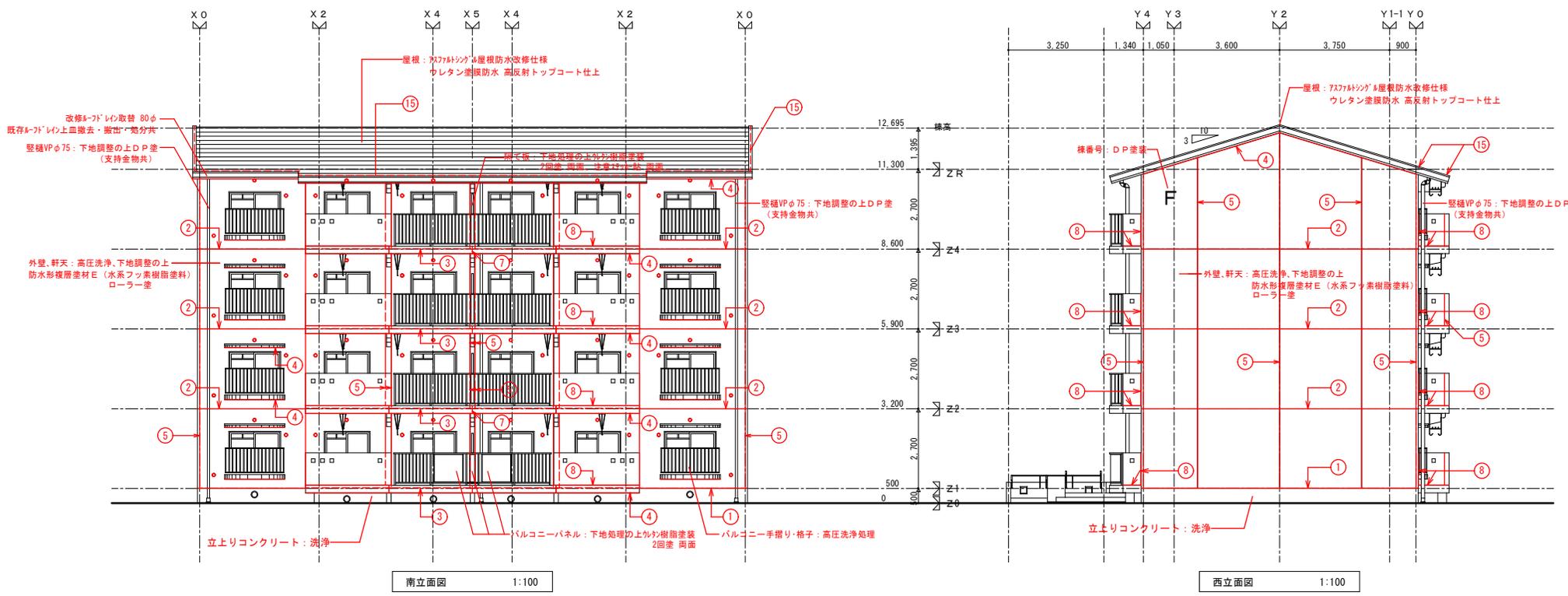


4階平面図 1:100

- 凡例 ■
- PCジョイント部を示す。(外壁)
  - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
  - バルコニー隔て板: 下地処理の上り材樹脂塗装2回塗り 両面  
注意ステッカー貼 両面

防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 床 — 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材

防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修
階段室	⑩ 壁 — 床 (踊場・階段ササラ)	PS(三方)E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑪ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (PC板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)
屋根	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材



南立面図 1:100

西立面図 1:100

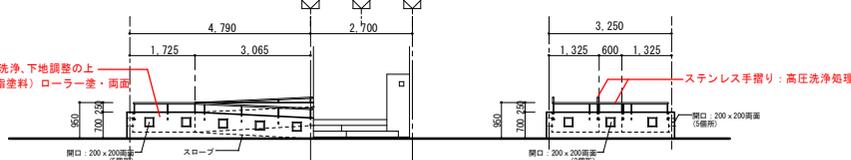
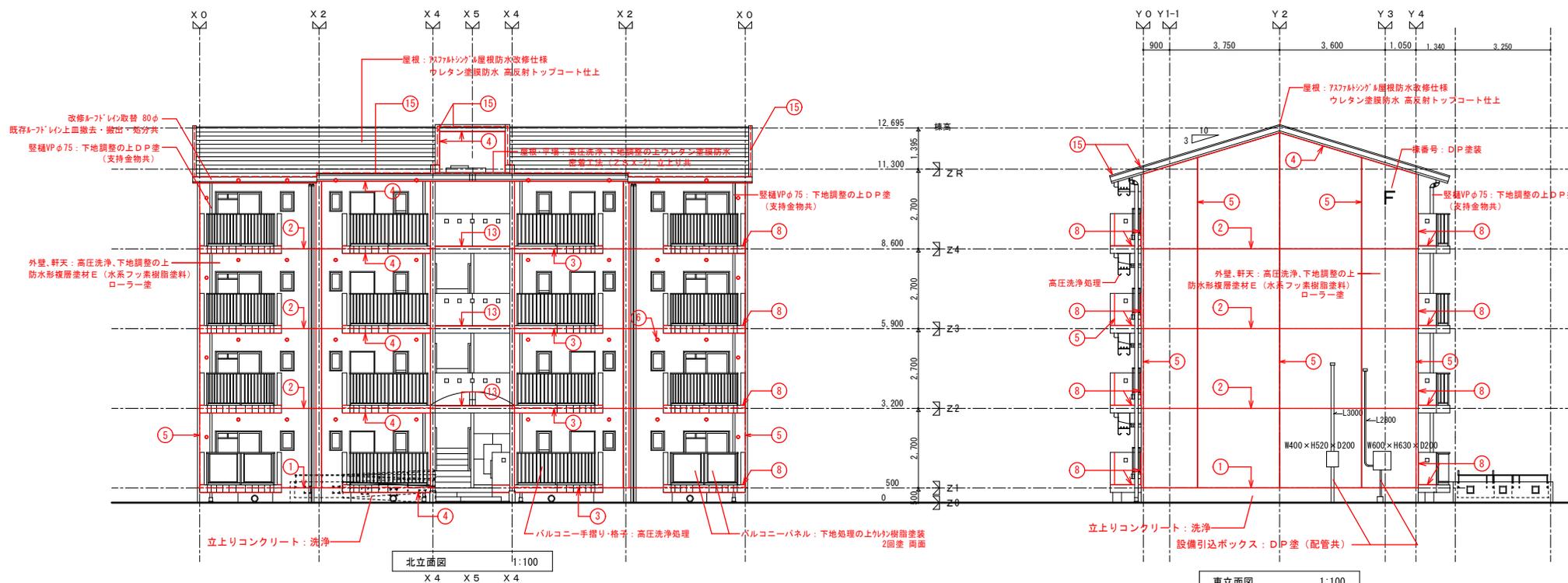
防水箇所		材料・仕様		防水箇所		材料・仕様				
		既存	改修			既存	改修			
外壁	①	外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	⑩	壁 - 床 (踊場・階段ササラ) PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	②	外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	⑪	壁 - 壁	横目地	テープ状シール材15×40、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	③	外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×30の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	⑫	玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	④	外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	⑬	踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口壁 (P.C板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤	外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	⑭	屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	台所・浴室排水管・換気・設備機器アブ廻り (外壁部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	⑮	屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑦	先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10					
	⑧	床 - 床 (下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					
	⑨	バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					



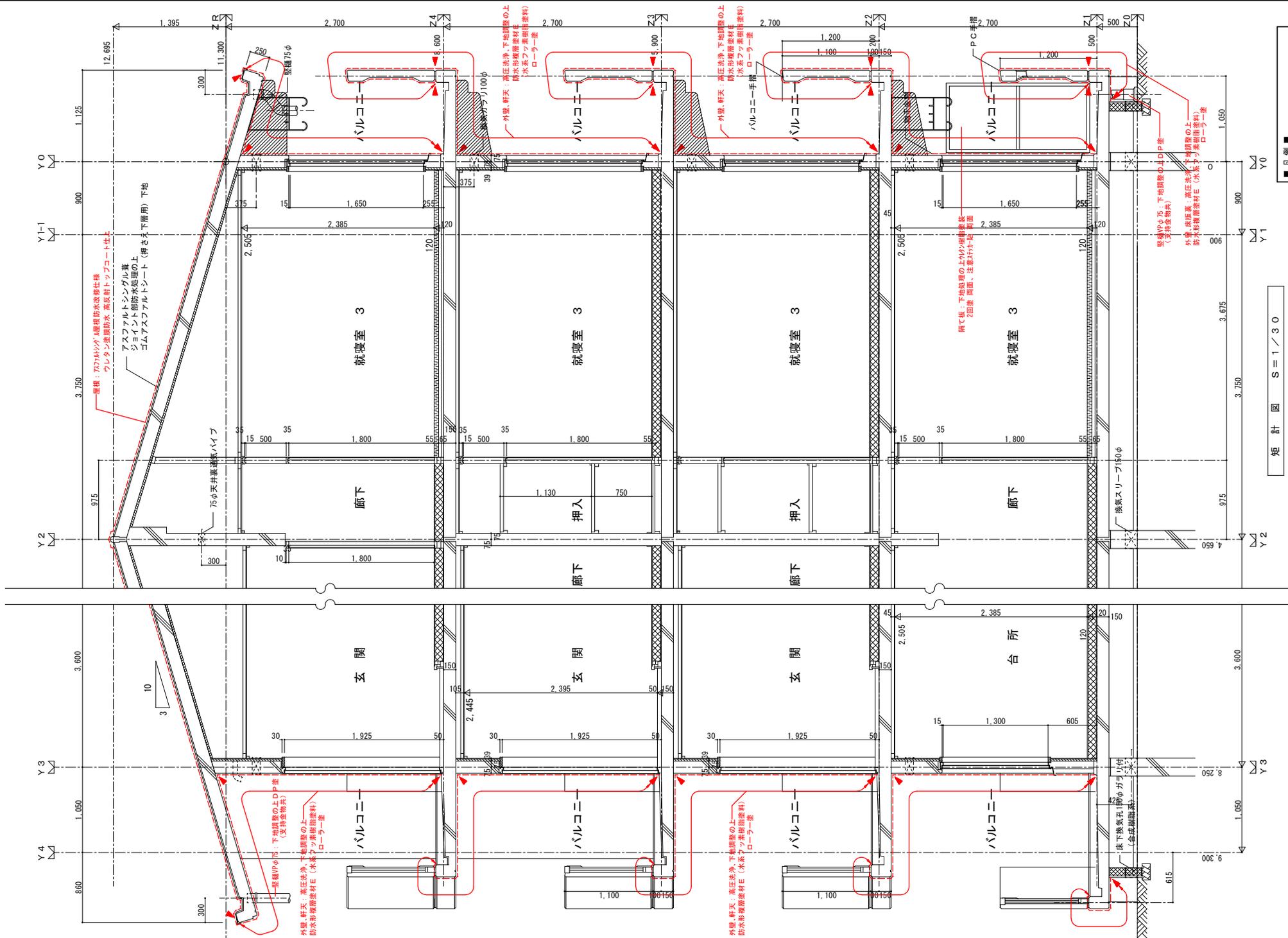
株式会社 藤岡設計 知事登録第 A3453号  
 大臣登録第185945号 一級建築士 藤岡和雄  
 茨城県石岡市正上内12番1号 TEL 0299-24-0515(代)

承認 設計 担当  
 縮尺 S=1/100  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 F号棟 立面図1 (南側・西側)



防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	⑩ 壁 - 一床 (踊場・階段ササ)	PS (三方) E号・F号棟	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 - 外壁	横目地	⑪ 壁 - 一壁	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	⑫ 玄関ドア全周		ガラスシート巾120mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	⑬ 踊場手摺・最上階下り壁・1階出入口 (P.C板)		建築用ウレタンシーリング材 (内外共)
	⑤ 外壁 - 外壁	縦目地	⑭ 屋根庇先端		建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 台所・浴室排水管・換気・設備機器廻り (外壁部)		⑮ 屋根軒先笠木		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑦ 先端立上り接合部				
	⑧ 床 - 床 (下部)				
	⑨ バルコニーアルミ手摺支柱脚廻り				



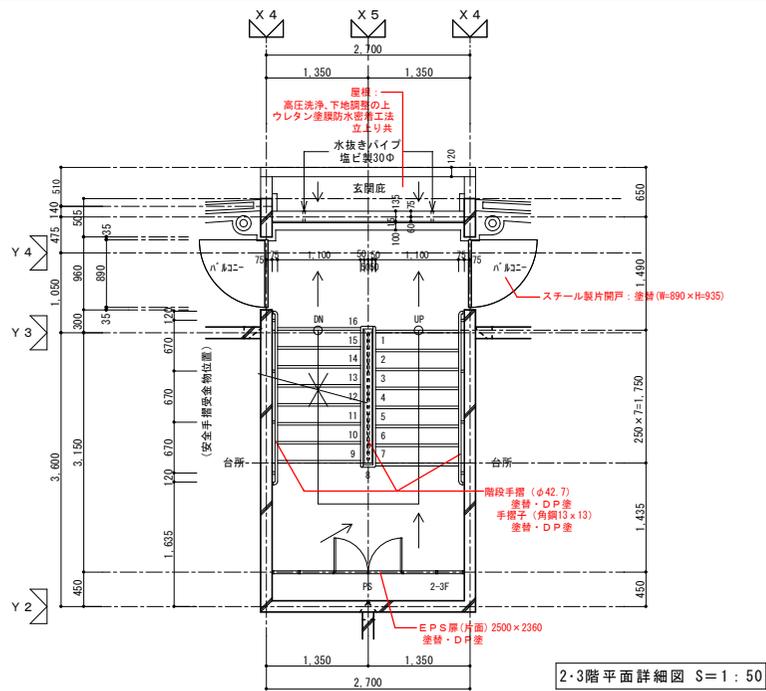
矩 計 図 S = 1 / 3 0



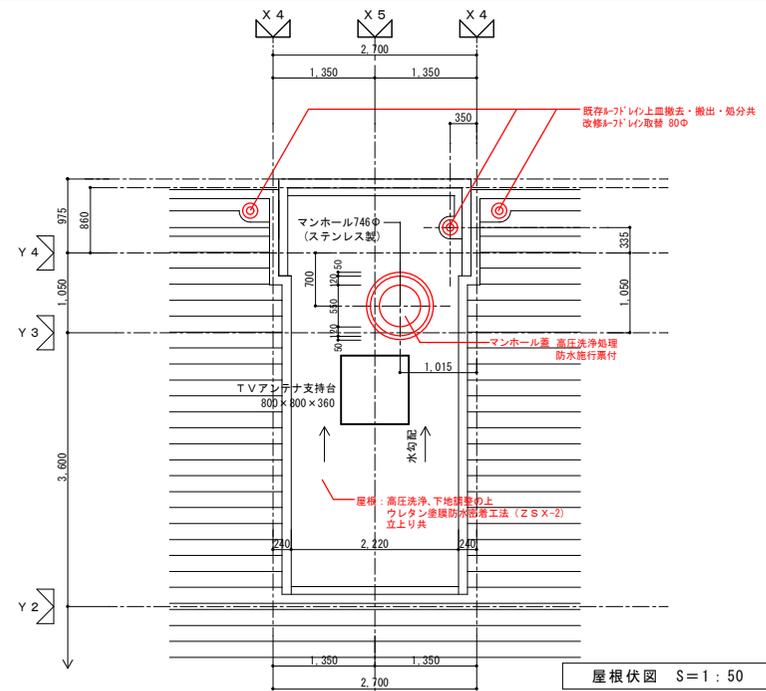
株式会社 藤岡和雄  
 大正登録第185945号  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認	設計	担当	縮尺
			S=1/30
			設計年月日
			R1.09.25

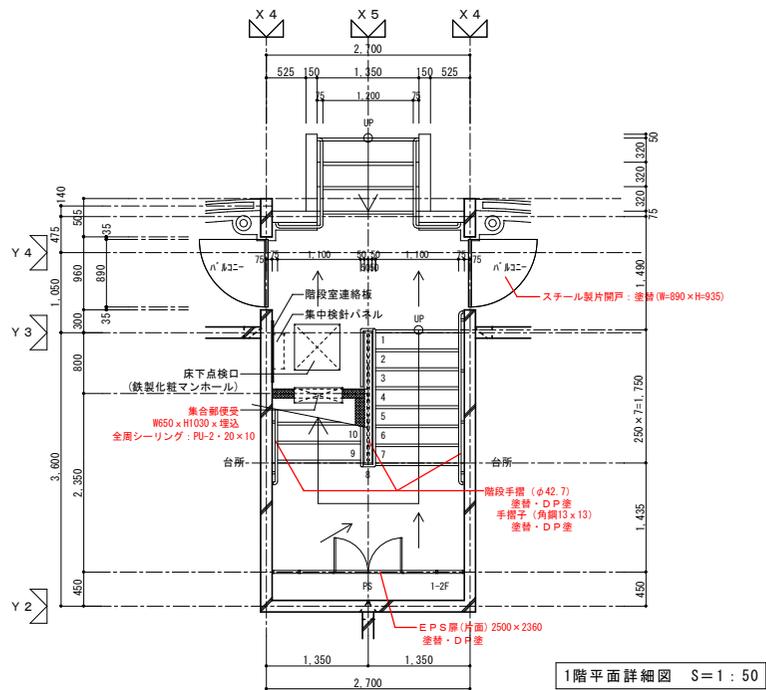
工事名称 R元 国補市営正上内合団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 F号棟 矩計図



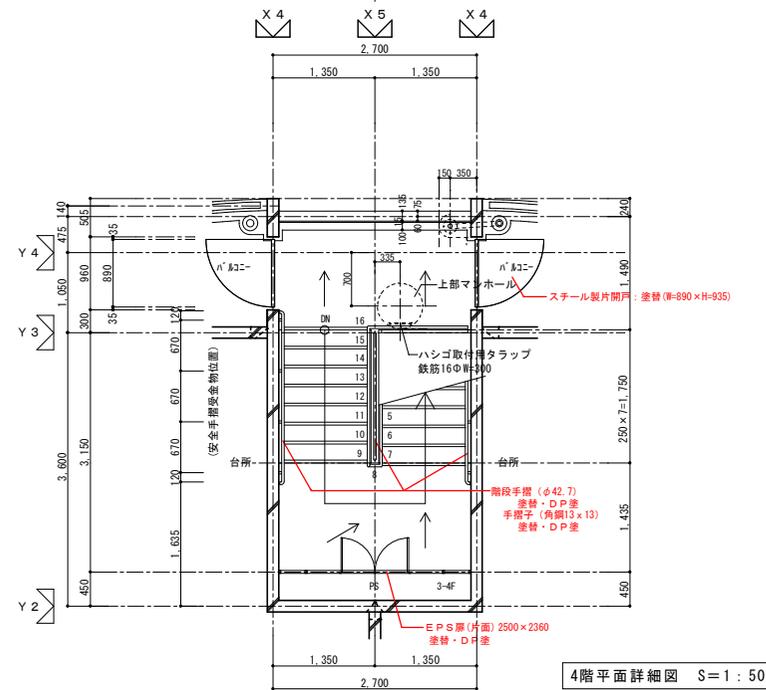
2・3階平面詳細図 S=1:50



屋根伏図 S=1:50



1階平面詳細図 S=1:50



4階平面詳細図 S=1:50

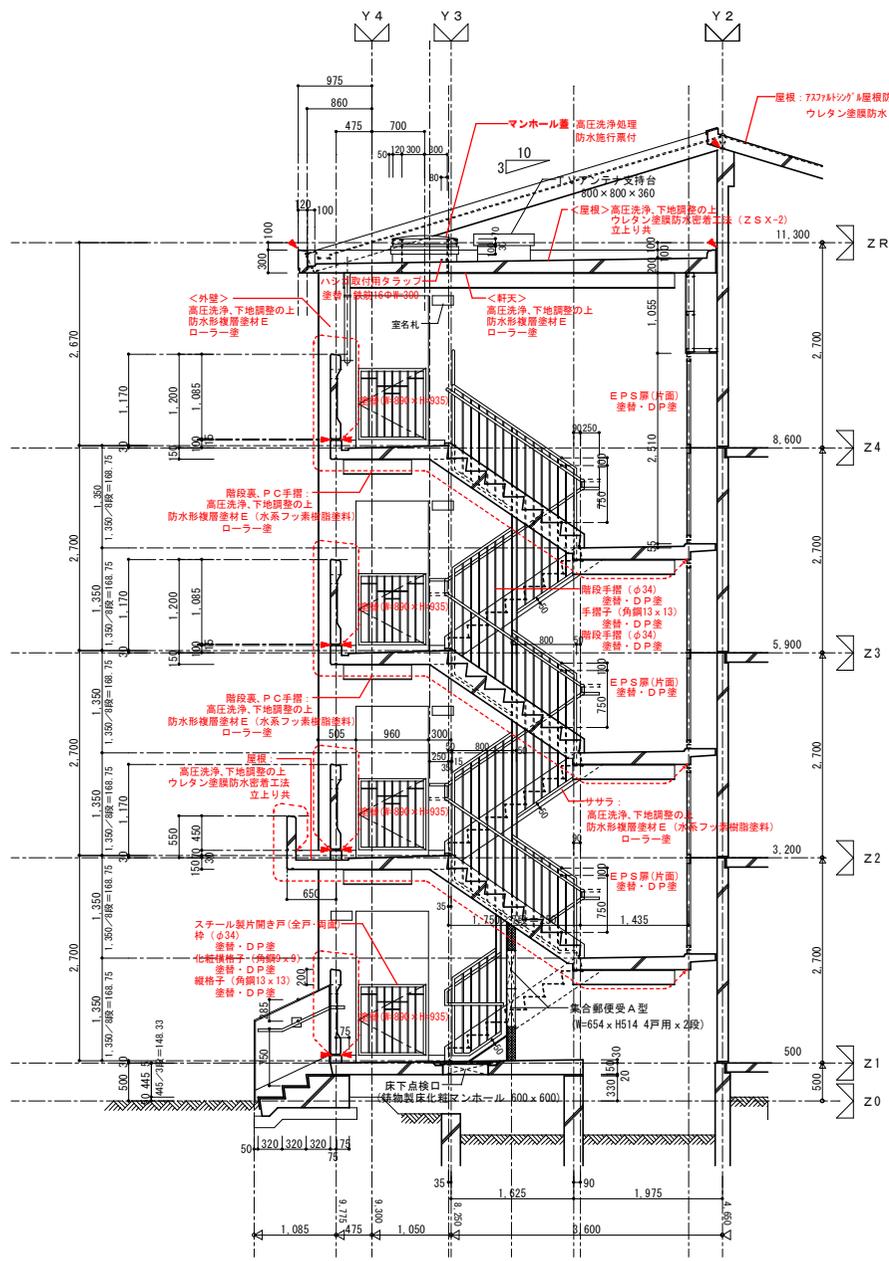


株式会社 藤岡設計  
 大臣登録第185945号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 如事登録第 A3453号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認 設計 担当

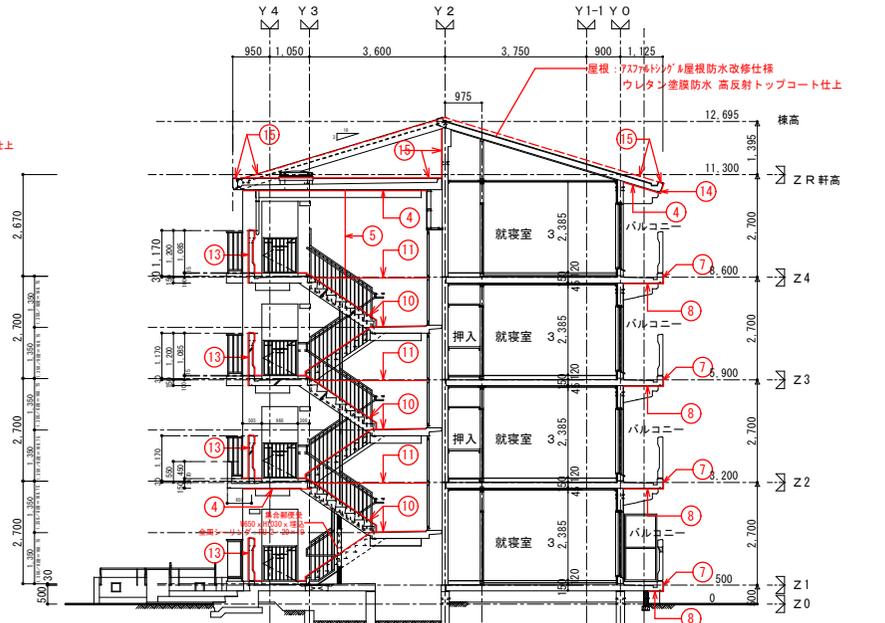
縮尺 S=1/50  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 F号棟 階段詳細図-1

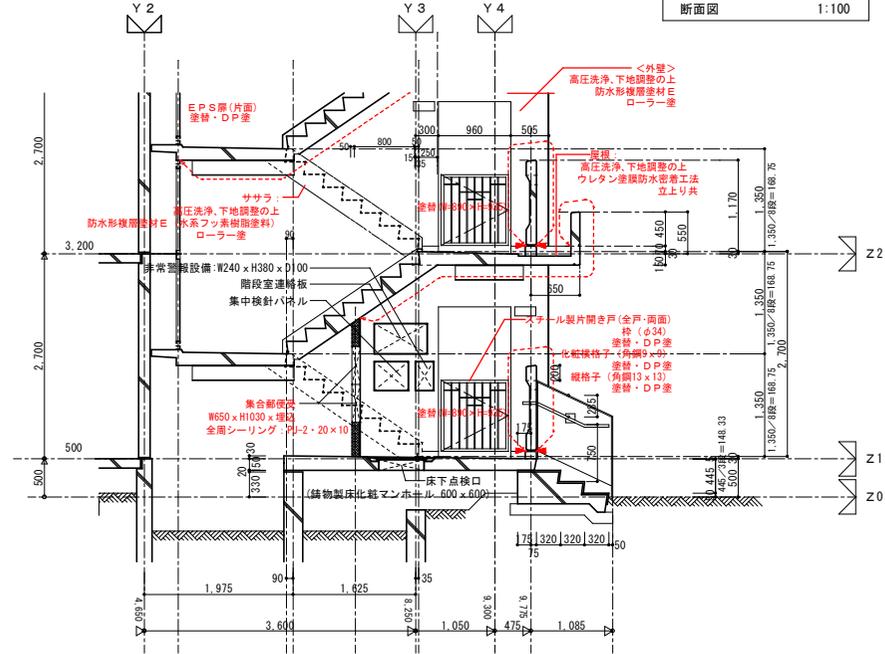


断面詳細図 S=1:50

- 凡例 ■
- ▶ シーリングを示す。(P.U-2)



断面図 1:100



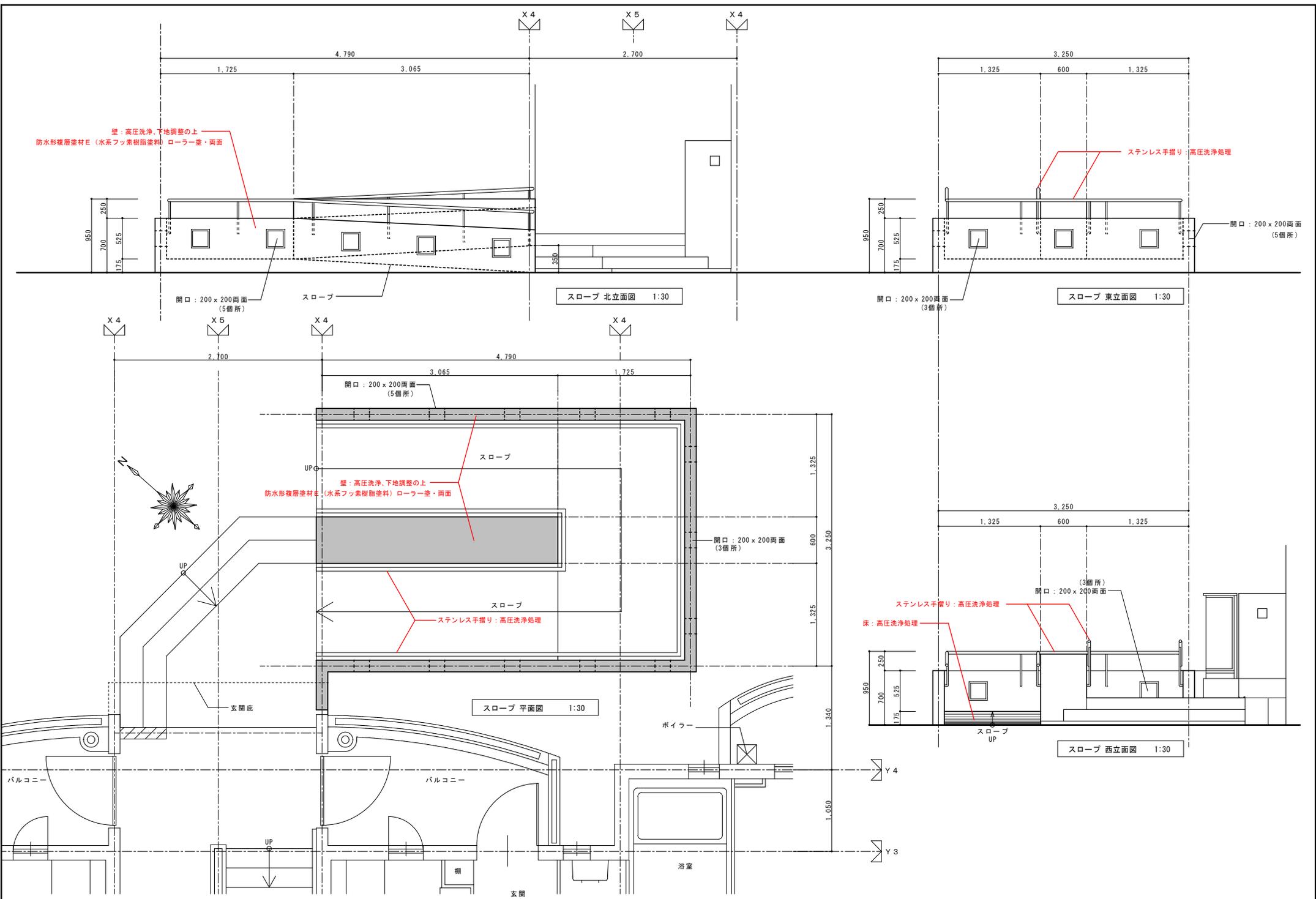
断面詳細図 S=1:50



藤岡設計  
 如事登録第 A3453号  
 大臣登録第185945号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認 設計 担当  
 縮尺 S=1/50  
 設計年月日 R1.09.25

工事名称 R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事  
 図面名称 F号棟 階段詳細図-2



スロープ 北立面図 1:30

スロープ 東立面図 1:30

スロープ 平面図 1:30

スロープ 西立面図 1:30



**株式会社 藤岡設計**  
 知事登録第 A 3453号  
 大臣登録第 185945号  
 一級建築士 藤岡和雄  
 茨城県石岡市正上内12番1号  
 TEL 0299-24-0515(代)

承認	設計	担当	縮尺
			S=1/30
			設計年月日
			R1.09.25

工事名称	R元 国補市営正上内台団地(D号、E号、F号棟)長寿命化改修工事
図面名称	F号棟 スロープ 平面・立面図